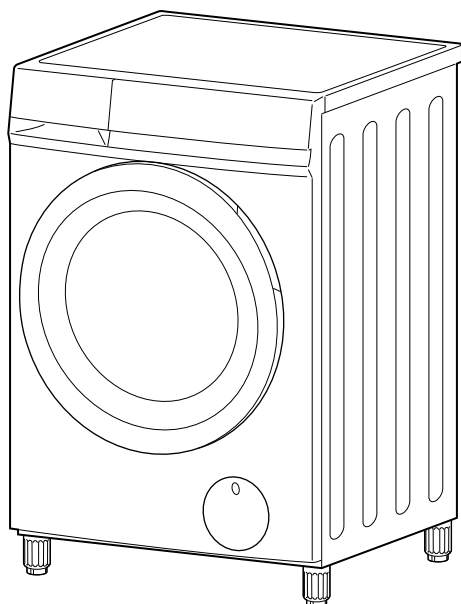


取扱説明書

ドラム式洗濯乾燥機
保証書付（裏表紙）

ANGL-DAH100-A



この度は、e angle ドラム式洗濯乾燥機をお買い上げ
いただき、まことにありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、
正しいご使用をお願いいたします。
また、この取扱説明書はいつでも見ることができる所に
保管してください。

この製品は日本国内用に設計されていますので、
日本国外では使用できません。
この取扱説明書の内容は改善のため、
予告なく変更することがあります。

FOR USE IN JAPAN ONLY.

— もくじ —



安全上のご注意	2
各部のなまえ・付属品	6
操作パネルの見かた	8
ドアの開閉について	10
洗濯物の準備	12
洗剤・柔軟剤の入れかた	14
コースについて	18
洗濯する／洗濯～乾燥する	20
予約する	22
デリケートな衣類を洗濯するとき （「おしゃれ着」コース）	23
毛布など大物を洗濯・乾燥するとき （「毛布」コース）	24
洗い・すすぎ・脱水・乾燥の個別運転	26
お手入れのしかた	27
据え付け	32
故障かな？と思ったら	46
こんな表示が出たら	48
仕様	49
部品・消耗品	50
アフターサービス	51
保証書	裏表紙

安全上のご注意



— 必ずお守りください —

ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他のかたへの危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

表示の説明

	警告	取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
	注意	取り扱いを誤った場合、傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。

図記号の説明

	禁止（してはいけない内容）を示します。
	強制（実行しなくてはならない内容）を示します。

警告

電源コード・電源プラグについて



電源コードを傷つけたり変形させたりしない(無理に曲げる、ねじる、引っ張る、束ねる)また、重いものをのせたり、熱器具へ近づけたりしない
火災や感電の原因になります。



電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込み、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
火災や感電の原因になります。コンセントの差し込みがゆるいときは、電気工事に修理を依頼してください。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電やけがの原因になります。



交流 100V・定格15A以上のコンセントを単独で使う
他の機器と併用すると分岐コンセント部が異常発熱し、火災の原因になります。



使用時、持ち運び時、収納時に電源コードを引っ張らない
電源コードが断線して、故障やショートなどによる感電や火災の原因になります。



本体を電源プラグに押し付けない
設置時は、本体で電源プラグを押し付けないように注意してください。



電源プラグや電源コードを金属のものに引っ掛けない、熱器具に近づけない
火災や感電、けがの原因になります。



電源コードをはさまない
電源コードが断線して、ショートなどによる感電や火災の原因になります。



電源プラグのホコリなどは定期的に取り除き、コンセントに差すときは金属などをはさまないように注意する
湿気などで絶縁不良となり、故障や火災の原因になります。



長期間使用しないときは、電源プラグを抜く
絶縁劣化による感電や漏電火災、けがの原因になります。



お手入れの際は、電源プラグを抜いてから行う
感電ややけどの原因になります。



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、電源プラグを持って抜く
感電やショートなどによる発火の原因になります。



本体内部に異物が入ったときや次のような場合は、直ちに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店または家電の119番に点検・修理を依頼する

- 電源プラグや電源コードが異常に熱くなる
- 本体から煙や異常なおいが出る
- 電源コードに深い傷や変形がある
- 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする

 **警告**

設置について



アース線は確実に取り付ける
故障や漏電のときに、感電の原因になります。(アース工事費は、本製品の価格に含まれていません)

アース線接続



確実に排水できる場所に設置する
水もれによる家財の破損、排水不良による漏電で感電や火災の原因になります。



風雨にさらされるベランダや庭などの場所、水場や湿気の多い場所に設置しない

水場での使用禁止

- 感電や漏電火災の原因になります。
- 結露により、壁や床にカビが発生する原因になります。

使用について



絶対に分解、修理、改造をおこなわない
発火したり、異常動作してけがや火災の原因になります。

禁止



蚊取り線香、タバコ、ローソクなど、火気や引火物を入れない、近づけない
火災の原因になります。

禁止



小さなお子さまや操作に不慣れなただけで使用させない、ドラムの中に入らせない(近くにのりやすい台などを置かない)
ドラム内に閉じ込められて窒息したり、やけどや感電、けがの原因になります。

禁止



直射日光のあたる場所に設置しない
紫外線でプラスチック部が破損したり、変質など思わぬ事故の原因になります。

禁止



本体や電源プラグに水や洗剤をかけない
火災や感電、破損の原因になります。

禁止



雷が鳴り出したら、本体やコンセントに触れない
感電の原因になります。

禁止



引火性のものや、それらが付着した衣類などを絶対に入れたり近づけたりしない(ドライクリーニング油、接着剤、灯油、ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなど)
揮発したガスなどに引火して、爆発や火災の原因になります。

禁止



ドラムが完全に止まるまでは、中に手を入れない
ゆるい回転でも衣類などが手に巻きついてけがの原因になります。
特にお子さまには気を付けてください。

禁止



次のものは洗濯後でも乾燥しない
油の酸化熱による自然発火の原因になります。
・食用油、動植物系油、機械油、ドライクリーニング油、美容オイル(ボディオイル・エステ系オイルなど)、樹脂(セルロース系)、接着剤などがついた洗濯物

禁止



ドア取り付け部周辺をさわった状態で、ドアを開け閉めしない
ドアと本体の間に指をはさみ、けがをするおそれがあります。

禁止

洗濯後でも油が残り、油の酸化熱による自然発火や引火のおそれがあります。また、ドラム内の部品などが変色や変形し、故障の原因になります。

- ウレタンフォーム(スポンジ)入りの洗濯物
- ポリプロピレン繊維製(キルティング生地の中綿など)の洗濯物

 **注意**



禁止

不安定な場所に設置しない

- キャスター付きの台
- タイルなどのすべりやすい床
- ベランダや強度の弱い床

高いところに設置しない

振動や騒音、床の損傷などで本体が転倒や落下、移動してけがや、家財の破損の原因になります。



禁止

次のものは洗濯に使わない

- 固まったり、固まりが内部で詰まり、床などへの水もれ、故障の原因になります。
- 粉石けん (洗濯用石けん)
- 重曹
- 固まった洗剤
- コインランドリー用パック洗剤



据え付けは、販売店または据付専門業者に依頼する

本体が重いので、腰を痛めたり、けがの原因になります。



禁止

ドラムに直接入れるタイプの洗剤などは、洗剤投入ケースに入れしない

内部で詰まり、給水中に水もれの原因になります。



使用する前に、次のことを確認する

床などへの水もれ・窓や壁などへの結露・その他故障の原因になります。

- 水栓を開き、給水ホースの接続部がゆるんでいないことを確認する
運転終了後は、水栓を閉じてください。
- ドアパッキン表面に糸くずなど異物が付着していないことを確認する
- 排水フィルターにパッキンが取り付けられているか、パッキン部や取り付け台に糸くずなどが付着していないことを確認する
- 乾燥運転中、温水運転中に換気が不十分な場合は窓や壁などに結露するおそれがあるため十分換気する



禁止

本体にスプレーをかけない(殺虫剤、整髪料、潤滑油など)

火災の原因になります。



禁止

本体の下に手足を入れない

けがの原因になります。



接触禁止

乾燥中や乾燥終了直後は、ドアのガラス部やドラム内、衣類の金属ボタンやファスナーなどにさわらない

やけどの原因になります。



禁止

本体の上へのぼったり、ものを載せたりしない

転倒したり、変形や破損によるけがの原因になります。



禁止

防水性のシートや衣類は洗濯しない(雨合羽、サウナスーツ、ウェットスーツ、おむつカバー、寝袋、スキーウェア、自転車などのカバー、防水シートなど)

脱水中に激しい振動や転倒によるけが、本体や壁、床などの損壊、洗濯物の損傷、水もれ被害の原因になります。



禁止

50℃以上のお湯を使わない

給湯機器とつながない

樹脂部分の変形や傷みによる感電や漏電の原因になります。



禁止

お手入れの際は、クレンザー、シンナー、ベンジン、アルコール、灯油などで本体を拭かない

- 本体の表面を傷つけたり、変色や変形の原因になります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。



禁止

ドアを閉めるときに、衣類をはさまない

衣類の損傷や床などへの水もれ、故障の原因になります。



禁止

衣類を出し入れするときには、ドアパッキンに無理な力を加えない

ドアパッキンが変形し、床などへの水もれ、故障の原因になります。



禁止

玄関マット、足拭きマットなど、厚くてかたいものは洗濯しない

- 異常振動によるけが、本体や家屋などの破損、洗濯物の損傷の原因になります。
- 洗える表示があっても洗わないでください。
➡ 「洗濯できないもの」(P 12)



禁止

排水フィルターを運転中に外さない

床などへの水もれ、故障の原因になります。

 **注意**



禁止

洗濯ネットは次の状態で使わない

異常振動によるけが、本体・家屋などの破損、洗濯物の損傷、水もれなどの原因になります。

- 洗濯ネットに詰め込み過ぎた洗濯物は、洗濯や脱水、乾燥をしない
- 洗濯ネットに入れた洗濯物だけで洗濯や脱水、乾燥をしない



禁止

マット類は乾燥しない

化学変化による自然発火の原因、マットの樹脂が本体内部についたり、他の洗濯物を汚す原因になります。



禁止

美容オイル(ボディオイル、エステ系オイルなど)が多量に付着した洗濯物は、ドラムに入れない

床などへの水もれ、故障の原因になります。

洗濯物は、ドラムに入れる前に下洗いをして、油を落としてください。



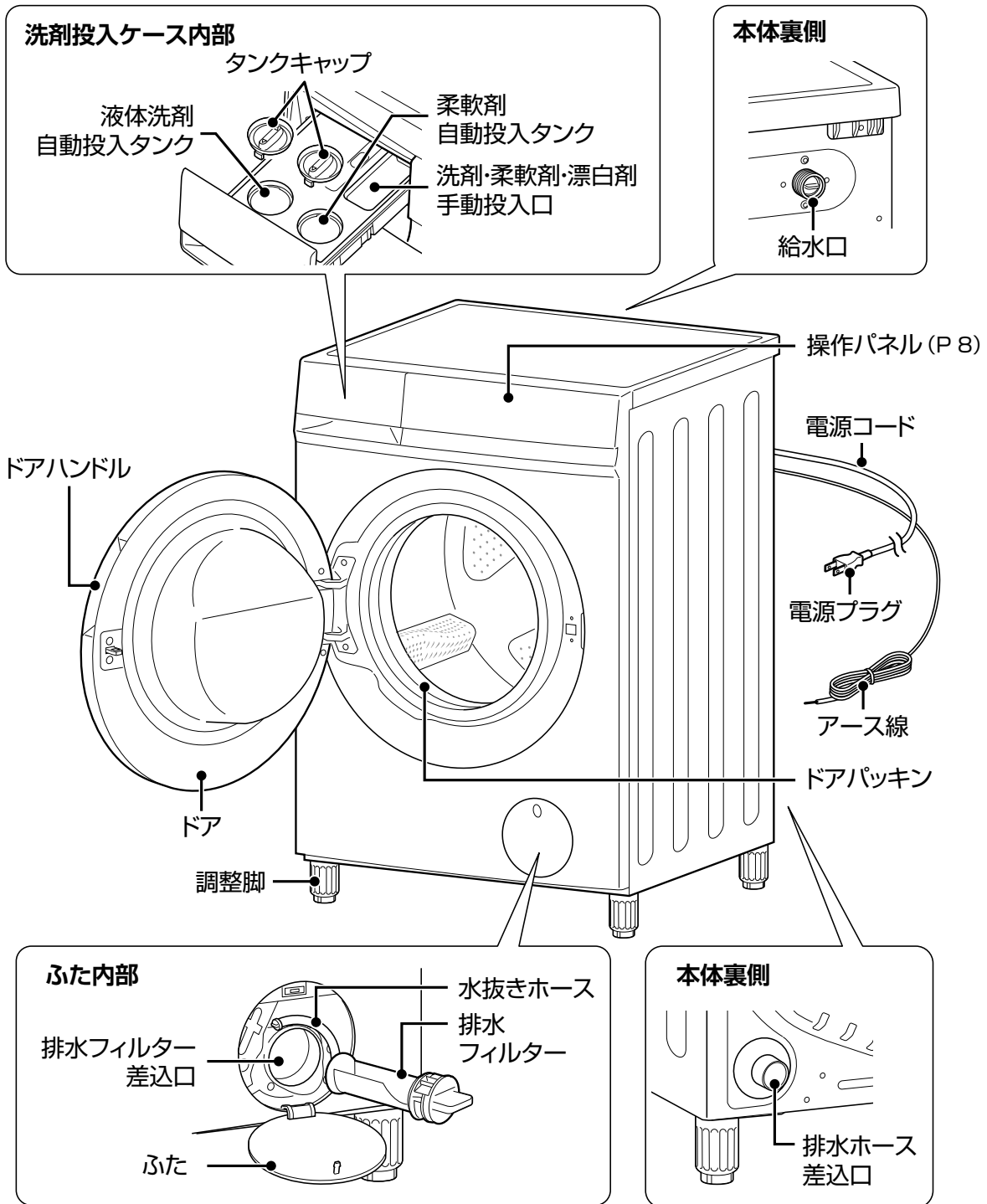
禁止

毛布や掛け布団を洗濯するときに洗濯ネットを使わない

脱水中の異常振動による周囲の壁などの破損、けがの原因になります。

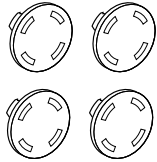
各部のなまえ・付属品

本体

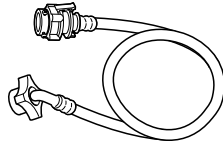


付属品

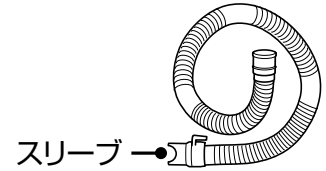
- ▶ 保護キャップ(4個)



- ▶ 給水ホース(ホース継手付)
(1本:長さ約80 cm)



- ▶ 排水ホース(スリーブ付)
(1本:長さ約1.1 m)



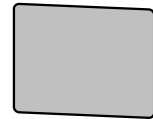
- ▶ 排水ホースバンド(1個)



- ▶ スパナ(1個)



- ▶ クッション(1枚)



操作パネルの見かた

表示部



- 「運転残り時間(目安)」、「洗剤量(目安)」、「設定した内容」、「ドラム式洗濯機の状態」、「運転中に生じた不具合」を表示します。

- 選択したオプションを表示します。(温度を除く)



つけおき



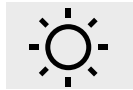
洗い



すすぎ



脱水



乾燥



柔軟剤



洗剤

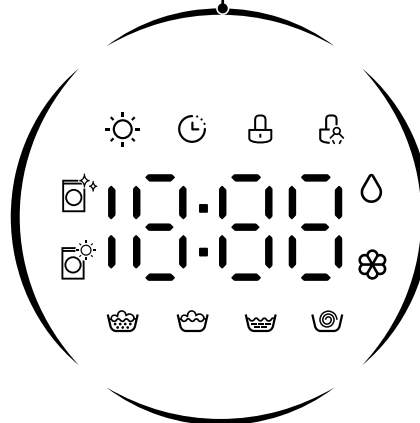
オプションボタン

- コースを選んだ後、運転内容を変更することができます。
- 「洗い」「すすぎ」「脱水」「乾燥」の個別運転を行うときは長押し(約3秒)します。

自動投入

- 液体洗剤や柔軟剤の自動投入を設定します。

- 標準・
- 念入り・
- ナイト・
- 毛布・
- おしゃれ着・




- 洗・乾
- スピード
- 乾燥待ってて
- 部屋干し
- お好み柔軟剤


コースボタン


- 洗濯または洗濯～乾燥を行うコースを選びます。

予約ボタン

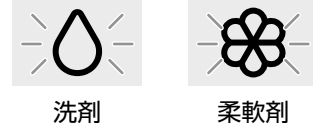
- 運転の予約をします。
- 運転終了までの時間を1時間単位で24時間後まで設定できます。

予約

 ● 予約設定しているときに表示されます。

ドアロック

 ● 「ドアロック」が表示されているときは、ドアがロックされているため開きません。

チャイルドロック

 ● 「チャイルドロック」が表示されているときもドアは開きません。

洗剤・柔軟剤補充のお知らせ





- 自動投入タンク内の残量が少なくなると、電源を入れたときに点滅表示でお知らせします。表示が出たら早めに補充してください。
- 点滅した状態で運転を続けると、汚れが落ちにくくなったり、再汚染などの原因になります。


フィルター確認ランプ
 ● フィルターのお手入れが必要なことをお知らせします。

電源
 ● 電源を入・切します。
 ● 運転が終わって約1分後、または電源を入れたあと操作しない状態で約10分経過すると、自動的に電源が切れます (オートパワーオフ)。



途中追加ボタン
 ● 運転中に洗濯物を追加・取り出したいときに長押し (約3秒) します。
 ➡ 「運転中・予約中にドアを開けて洗濯物を追加・取り出したとき」(P 10)

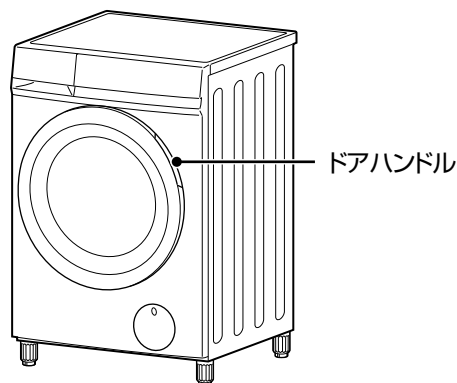
お手入れコースボタン


 ● お手入れコースを選ぶときに押します。
 ● 槽洗浄→槽乾燥→槽洗浄+槽乾燥の順に切り替わり、表示部に選んだコースのアイコンが表示されます。

スタート/一時停止
 ● 運転のスタートや一時停止をします。
 ※ 運転中に洗濯物を追加・取り出したいときは  (途中追加) ボタンを長押し (約3秒) します。
 ➡ 「運転中・予約中にドアを開けて洗濯物を追加・取り出したいとき」(P 10)

ドアの開閉について

ドアの開閉

ドアハンドルを引くとドアが開きます。
閉じるときは、ドアハンドル下側付近を押して、しっかりと閉めてください。



ドアロック表示

運転中はドアロックがかかります。
ドアロックの状態は操作パネルの表示部で確認できます。



ドアロック

▶ ドアロック点灯時

ドアロックされているため、開くことはできません。


▶ ドアロック消灯時

ドアロックが解除されているため、開くことができます。

おしらせ ● ドアに洗濯物などがはさまったままドアを閉めると、ドアロックがかからない場合があります。

運転中・予約中にドアを開けて洗濯物を追加・取り出したいとき

1 (途中追加) ボタンを長押し(約3秒)する

 ドアロック」が消灯したら、ドアが開けられます。

2 ドアを開け、洗濯物を入れる、または取り出す

3 ドアを閉めて、 (スタート／一時停止) ボタンを押す

運転が始まります。



次のときはドアを開けることができません。

- ・ 乾燥中
- ・ ドラム内の水位が高いとき
- ・ (水温変更時)水温が高いとき
- ・ 槽洗浄、槽乾燥、槽洗浄＋槽乾燥コース運転中


おしらせ ● 運転中にドアを開けるときは、ドラム内の泡立ちが少ないことを確認してから、ドアを開けてください。

チャイルドロックの設定のしかた


子供が誤ってドラム内に閉じ込められないように、安全のため強制的にドアをロックし、開かないようにすることができます。

- 1  (つけおき)ボタンと  (途中追加)ボタンを同時に長押し(約3秒)する



- 2 設定が完了すると、 (チャイルドロック)が点灯する
チャイルドロック中に操作しようとする则表示部に「CL」が表示され、操作できません。また、電源を切っても解除するまでドアは開けられません。

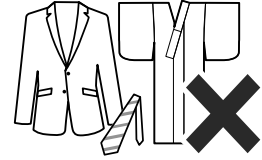


チャイルドロックの解除は、設定と同じ操作をします。
設定が解除されると、 (チャイルドロック) が消灯します。

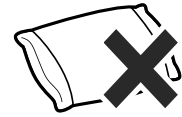
洗濯物の準備

洗濯や乾燥ができないもの

- 皮革製品、羽毛、毛皮など(部分的に使われているものも含む)
- 絹(混紡製品も含む)
- レーヨン、ポリノジック、キュプラなど(裏地に使われているものや混紡製品も含む)
- コーティング加工、樹脂加工(接着剤を使ったもの)を施したもの
- エンボス加工(布に凹凸の模様を付ける加工)、シワ加工を施したもの
- ちりめんなどの強撚糸(強くよじった糸)を使ったもの
- 和服、和装小物
- ベルベット、別珍
- スーツ、ジャケット、コート、ネクタイなど芯地を使っているもの
洗濯物の傷み、縮み、形くずれ、色落ち、水シミ、風合いを損なうなどの原因になります。



- 座布団やまくら、布団など、わたやウレタン(スポンジ類)を使ったもの
洗濯物を傷めたり故障の原因になります。



- 純毛の毛布、電気毛布、ロングパイル(毛足10 mm以上)の毛布、カーペット
(洗える電気毛布やカーペットカバーは、その取扱説明書に従ってください。)
毛だおれするなど洗濯物を傷めたり、故障の原因になります。



- 市販の洗濯補助具(洗濯ボール、ゴミ取りフィルターなど)
変形、破損などによって、洗濯物を傷めたり、故障の原因になります。

- 右図のような取扱い表示のあるもの

新記号



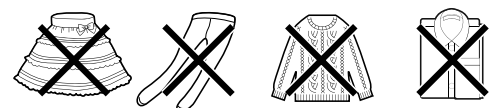
旧記号



- 玄関マット、足拭きマットなど、厚くてかたいもの
洗える表示があっても洗わないでください。異常振動によるけが、本体や家屋などの破損、洗濯物の損傷の原因になります。
- 防水性のシートや衣類(雨合羽、サウナスーツ、ウェットスーツ、おむつカバー、寝袋、スキーウェア、自転車などのカバー、防水シートなど)
脱水中に激しい振動や転倒によるけが、本体や壁、床などの損壊、洗濯物の損傷、水もれ被害の原因になります。

乾燥できないもの

- レースや刺しゅうなどの装飾があるもの、新合繊(超極細繊維)の衣類
- タイツ、ストッキング
- ウールなどの獣毛製品とその混紡製品
- のりづけした衣類
- 右図のような取扱い表示のあるもの
- 「洗濯も乾燥もできません」や「乾燥できません」の取扱い表示がある場合は、その他の「できます」の表示と併記されていても、洗濯や乾燥はできません。
- ペットの毛が付着したものを乾燥すると、フィルターや排水口が詰まり、性能が低下する原因になります。



新記号



タンブル乾燥禁止

旧記号

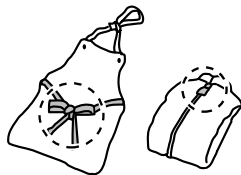


洗濯物の準備

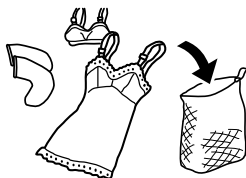
- 衣類の取扱い表示をチェックする
- 色物と白物は分ける
他の衣類への色移りを防ぐため
- ポケットの中のものを取り除く
硬貨、ねじ、ヘアピン、くぎ、砂、つまようじなどは本体内部や排水経路に詰まり、水もれや故障の原因になります。



- 汚れのひどい部分やシミは前処理をする
部分洗い用洗剤、中性洗剤、漂白剤などを用途に合わせてご使用ください。
- ドロや砂はブラシなどでよく落とす
- 飾り・付属品付き衣類、コーデュロイなど起毛素材衣類は裏返す
衣類の傷み、毛玉、糸くずが付くのを防ぐため
- ひもは結ぶ、ファスナーは閉める、面テープは留めておく
衣類やファスナーの傷みを防ぐため
面テープは留めておかないと衣類に付いたり、傷みの原因になります。



- デリケートな衣類や軽い洗濯物は洗濯ネットに入れる
衣類の傷み、形くずれを防ぐため
 - ・ レース付き衣類、ブラジャー、ストッキング、タイツなどは洗濯ネットに入れて洗ってください。
 - ・ 靴下やハンカチ、布マスクなどの軽い小物はすき間に入り、故障の原因になります。



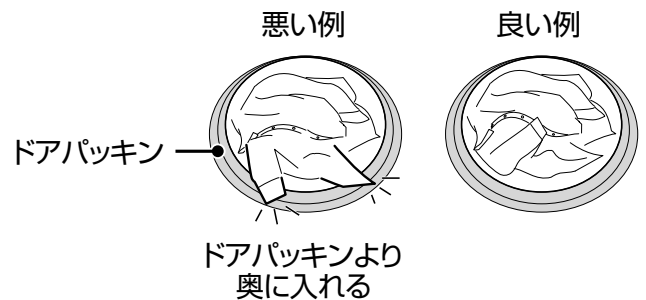
洗濯物の入れかた

▶ 洗濯ネットに入れた洗濯物だけでは洗濯しない
洗濯ネットには洗濯物を詰め込み過ぎず、できるだけ小分けにし、他の衣類と一緒に洗濯してください。
脱水時に洗濯物のバランスが取れず、脱水できないことがあります。

▶ 洗濯ネットにたくさんの洗濯物を詰め込んで乾燥運転しない

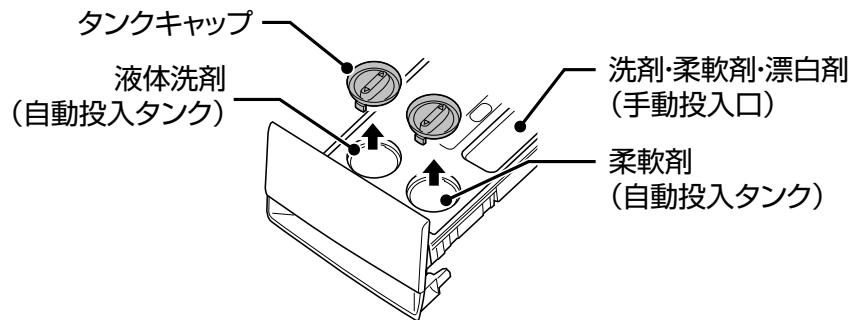
洗濯ネットに入れたまま乾燥すると、シワ、乾きムラになります。

▶ 洗濯物は、ドアパッキンより奥にしっかりと押し込む



※ 衣類の入れすぎは、洗濯物の飛び出しによる衣類損傷とドラム内部を傷つける原因になります。

洗剤・柔軟剤の入れかた



ご注意

- プラスチック部分に洗剤・柔軟剤・漂白剤が付いた場合は、水を含ませたやわらかい布ですぐに拭き取ってください。放置するとプラスチック部品を傷める原因になります。特に濃縮液体洗剤はプラスチック部に付いた場合、部品が割れるおそれがあります。
- 給水中は洗剤投入ケースを引き出さないでください。水もれの原因になります。

▶ 使用できない洗剤・柔軟剤など

✕ 使えません / ○ 使えます

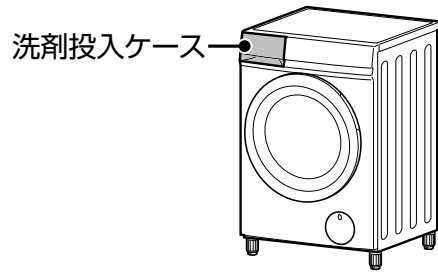
洗剤・柔軟剤の種類	自動投入タンク	手動投入口
粉末合成洗剤	✕	○ ^{*2}
おしゃれ着用液体中性洗剤(毛・絹用)	✕	○
酸素系漂白剤(液体、粉末)	✕	○ ^{*3}
容器に「使用量の目安表示」がないもの		✕
石けん(液体、液体複合、粉 ^{*1})		✕
ゼリー状や固まった状態、分離した状態のもの		✕
コインランドリー用パック洗剤		✕
重曹 ^{*1}		✕
ドラムに直投入れるジェルボール型洗剤・スティック型洗剤・ビーズタイプの仕上げ剤など		✕ 洗剤などの使用方法に従ってください。

*1 固まりやすく本体内部で詰まり、水もれ、故障の原因となります。

*2 かたまりがある場合は使用しないでください。水もれ・故障の原因になります。

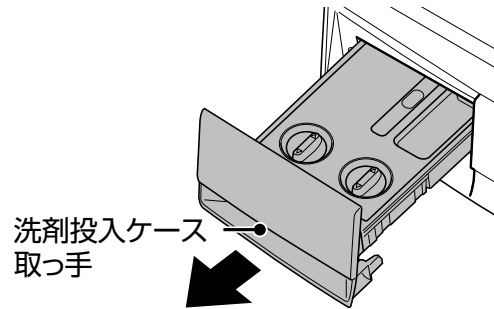
*3 酸素系液体漂白剤は使用しないでください。漂白剤が直接衣類に付くと変色することがあります。

自動投入タンクに液体洗剤・柔軟剤を入れる

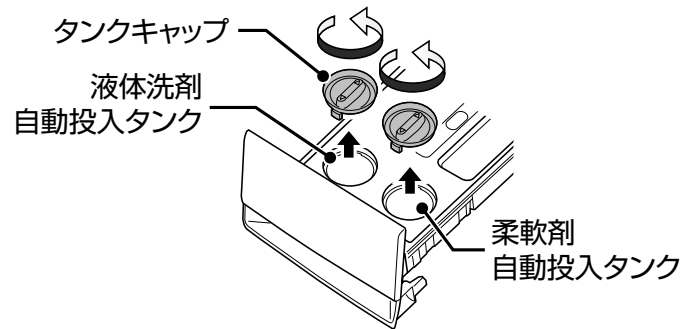


1 洗剤投入ケースを開ける

① 洗剤投入ケースを手前に引く

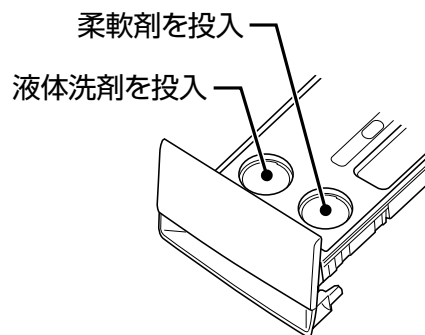


② タンクキャップのつまみを左に回して外す



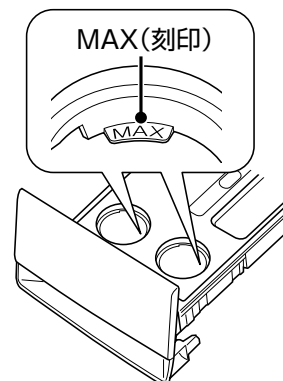
2 液体洗剤・柔軟剤を入れる

液体洗剤タンク容量	約570 mL
柔軟剤タンク容量	約360 mL



ご注意

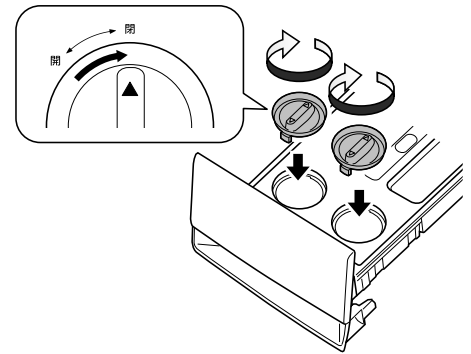
- 自動投入タンクの「MAX」を超えて液体洗剤・柔軟剤を入れないでください。



次のページにつづく➡

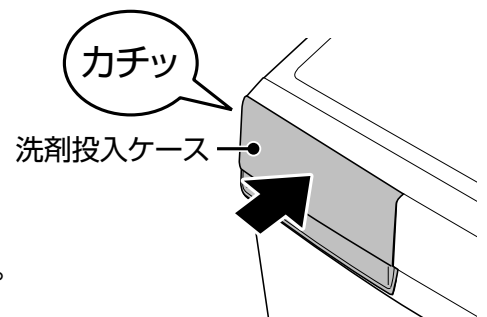
洗剤・柔軟剤の入れかた

3 液体洗剤・柔軟剤を入れたら、つまみの▲印を「開」の位置に合わせ、右に回して閉める



4 洗剤投入ケースを閉める

奥まで「カチッ」と音がするまで押し込んでください。



ご注意

- 入れ間違いにご注意ください。
- 液体洗剤や柔軟剤以外のものは入れないでください。故障の原因になります。
- 定期的に自動投入タンクと自動投入経路のお手入れをしてください。

▶ 液体洗剤・柔軟剤がこぼれてしまった場合

すぐにタオルや布などで拭き取り、べたつきが気になる場合は水をふくませ、かたくしぼったタオルなどで拭いてください。液体洗剤や柔軟剤がこぼれたまま放置すると固まって汚れが取れなくなったり、故障の原因になります。

手動投入口に洗剤・柔軟剤・漂白剤を入れる

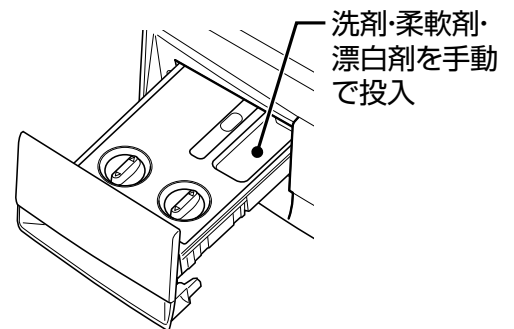
洗剤・漂白剤を手動投入する場合は、「自動投入しない」設定(洗剤ランプが消灯)にしてください。

柔軟剤を手動投入する場合は「お好み柔軟剤」コースをお使いください。

▶ 手動投入口に入れて使用できるもの

粉末の洗剤、漂白剤を入れるとき、手動投入口が濡れている場合は拭いてから入れてください。溶け残りの原因になります。

- ・ 液体合成洗剤
- ・ 粉末合成洗剤
- ・ 酸素系漂白剤(液体・粉末)
- ・ 柔軟剤



ご注意

- 石けん(液体・粉)、重曹は使用しないでください。故障の原因になります。
- ドラムに直接入れるジェルボール型洗剤・スティック型洗剤・ビーズタイプの仕上げ剤などを手動投入口に入れしないでください。

洗剤・柔軟剤量の目安

▶ 自動投入の場合

「水30L に対して使用量 約10mL」を目安とした液体洗剤・液体柔軟剤をご使用ください。

代表的な洗剤・柔軟剤の目安（水30L に対する使用量）

洗剤の種類	使用量(mL)	柔軟剤の種類	使用量(mL)
アタックZERO	10	ソフラン アロマリッチ	10
ナノックス ワン		ハミング	
ニュービーズ	30	ハミング(非濃縮タイプ)	20
アタック		レノア	16
アリエール 抗菌EX	27	レノア 超消臭	15
トップクリアリキッド	25	ふんわり ソフラン	7
アリエールMiRAi	13	ハミング消臭実感 自動投入専用	5
ナノックス 自動投入専用	6		

※お使いの銘柄が表にない場合は、洗剤容器に表示されている「水30L に対する洗剤量、柔軟剤量」をご確認ください。
容器に目安の記載がないときや分からないときは、洗剤メーカーにお問い合わせください。

※この目安から外れる洗剤・柔軟剤をご使用の場合は、自動投入を使用せず「手動投入」をご使用ください。

▶ 手動投入の場合

コース	洗濯量	洗剤量/ 柔軟剤量 (目安)	合成洗剤				柔軟剤 (mL)	酸素系 液体漂白剤 (mL)		
			粉末(g)		液体(mL)			20 mL	40 mL	
			18 g	30 g	10 mL	25 mL	7 mL			10 mL
標準	L4 (最大: 10 kg以下)	1.1杯/ 0.7杯	46	79	24	61	20	29	25	50
	L3 (多め: 7.5 kg以下)	0.9杯/ 0.6杯	38	65	20	51	18	25	20	40
	L2 (標準: 5 kg以下)	0.8杯/ 0.5杯	34	58	18	46	13	19	15	30
	L1 (少なめ: 2.5 kg以下)	0.6杯/ 0.3杯	25	43	14	35	9	13	10	20
スピード	1 kg	0.3杯/ 0.3杯	13	22	7	18	9	13	10	20
毛布	3 kg	0.8杯/ 0.5杯	34	58	18	46	13	19	15	30

※その他のコースの投入量は標準と同じです。

※投入量はお使いの洗剤・柔軟剤の表示をご確認ください。

コースについて

洗濯のみのコースもオプションで乾燥を設定できます。(ナイトコース、おしゃれ着コースを除く)

コース	運転内容	こんなときに	容量の上限 上段：「洗濯」 下段：「洗濯 ～乾燥」	自動設定の内容				
				所要時間の 目安(約)	洗い	温度 (水温)	すすぎ	脱水
標準	洗濯	普段の洗濯に	洗濯： 10 kg 洗濯～乾燥： 5 kg	46分	14分	cold	2回	4分
念入り	洗濯	汚れの多いものなどを洗うとき	洗濯： 3 kg 洗濯～乾燥： 3 kg	1時間13分	41分	cold	2回	9分
ナイト	洗濯	運転音を抑えて運転したいとき	洗濯： 4.5 kg 洗濯～乾燥： —	44分	14分	cold	2回	5分
毛布	洗濯	毛布、カーペットカバー、夏掛け布団、カーテン、シーツなどを洗うとき	洗濯： 3 kg 洗濯～乾燥： 3 kg	1時間50分	20分	cold	3回	8分
おしゃれ着	洗濯	デリケートな衣類を洗うとき	洗濯： 3 kg 洗濯～乾燥： —	1時間	7分	cold	3回	3分 (変更できません。)
洗・乾	洗濯～乾燥	洗濯～乾燥まで行うとき	洗濯： 5 kg 洗濯～乾燥： 5 kg	3時間47分	14分	cold	2回	4分
スピード	洗濯	汚れの軽いものを早く洗いたいとき	洗濯： 1 kg 洗濯～乾燥： 1 kg	15分	2分	cold	2回	4分 (変更できません。)
乾燥待ってて	洗濯～乾燥	洗濯後に乾燥しない衣類を取り出したいとき	洗濯： 5 kg 洗濯～乾燥： 5 kg	3時間47分	14分	cold	2回	4分
部屋干し	洗濯	部屋干ししたいとき(脱水時間を長くして部屋干しに適した仕上がり)	洗濯： 3 kg 洗濯～乾燥： 3 kg	50分	14分	cold	2回	8分 (変更できません。)
お好み柔軟剤	洗濯	手で柔軟剤を投入したいときや柔軟剤の香りをしっかりつけたいとき	洗濯： 10 kg 洗濯～乾燥： 5 kg	46分	14分	cold	2回	4分

温度(水温)について

洗いの水温を上げて洗濯するときに選べます。衣類の取扱い表示をご確認のうえ、水温を選んでください。

cold	通常の洗濯に(加熱しません)
15℃	冬場の洗濯に
30℃	汚れをしっかりと落としたいときに
40℃	皮脂汚れ、においが気になる衣類に
60℃	白色肌着(綿素材など)に

ご注意

- 次のものは水温「60℃」では洗えません。
 - ・ 色柄物
 - ・ プリントがついているもの
 - ・ ゴム素材を使用した伸縮性のあるもの

| コースについて

下線が初期設定値です。
*スピードのみ時間(分)設定

		お好みで設定できる内容					
つけおき	乾燥 (レベル)	洗い	温度 (水温)	すすぎ	脱水	つけおき	乾燥 (レベル)
×	なし (OFF)	<u>14</u> /17/19/ 21/24分	<u>cold</u> /15/30/ 40/60℃	<u>2</u> /3/ 4/1回	<u>4</u> /5/6/ 7/8分	×	なし(OFF)/ 弱(d-1)/ 標準(d-2)/ 強(d-3)
○	なし (OFF)	<u>41</u> /46/51/ 31/36分	<u>cold</u> /15/30/ 40/60℃	<u>2</u> /3/ 4/1回	<u>9</u> /10/6/ 7/8分	○ (変更できません。)	なし(OFF)/ 弱(d-1)/ 標準(d-2)/ 強(d-3)
○	×	<u>14</u> /19/24/ 29/34分	<u>cold</u> /15/30/ 40/60℃	<u>2</u> /3/ 4/1回	<u>5</u> /6/7/ 8/9分	○	×
○	なし (OFF)	<u>20</u> /25/30/ 5/15分	<u>cold</u> /15℃	<u>3</u> /4/ 1/2回	<u>8</u> /9/10/ 11/12分	○	なし(OFF)/ 弱(d-1)/ 標準(d-2)/ 強(d-3)
○	×	<u>7</u> /9/11/1 3/16分	<u>cold</u> /15/30℃	<u>3</u> /4/ 1/2回	<u>3</u> 分 (変更できません。)	○	×
○	標準 (d-2)	<u>14</u> /17/19/ 21/24分	<u>cold</u> /15/30/ 40/60℃	<u>2</u> /3/ 4/1回	<u>4</u> /5/6/ 7/8分	○	標準(d-2)/ 強(d-3) / なし(OFF)/ 弱(d-1)
×	なし (OFF)	<u>2</u> /4/6/ 7/1分	<u>cold</u> /15/30℃	<u>2</u> /3/1回	<u>4</u> 分 (変更できません。)	×	なし(OFF)/ 30/45/ 60/90 (分)*
○	標準 (d-2)	<u>14</u> /17/19/ 21/24分	<u>cold</u> /15/30/ 40/60℃	<u>2</u> /3/ 4/1回	<u>4</u> /5/6/ 7/8分	○	標準(d-2)/ 強(d-3)/ 弱(d-1) / なし(OFF)
○	なし (OFF)	<u>14</u> /17/19/ 21/24分	<u>cold</u> /15/30/ 40/60℃	<u>2</u> /3/ 4/1回	<u>8</u> 分 (変更できません。)	○	なし(OFF)/ 弱(d-1)/ 標準(d-2)/ 強(d-3)
○	なし (OFF)	<u>14</u> /17/19/ 21/24分	<u>cold</u> /15/30/ 40/60℃	<u>2</u> /3/ 4/1回	<u>4</u> /5/6/ 7/8分	○	なし(OFF)/ 弱(d-1)/ 標準(d-2)/ 強(d-3)

お知らせ

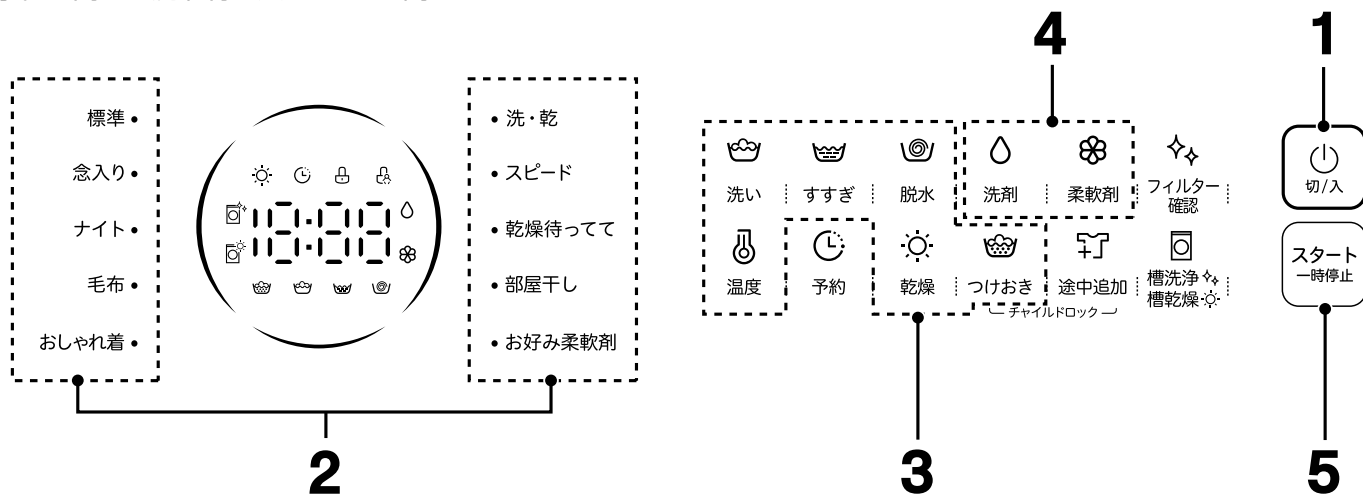
- 水温「40℃」、「60℃」では、色柄物と白物衣類を分けて洗ってください。
- 衣類の取扱い表示を確認し、上限を越える温度では洗わないでください。
- 水温を変更すると、水温を変更しない場合と比べて所要時間が長くなります。
- 洗濯量や初期の水温によって、設定水温に達しないことがあります。

洗濯する / 洗濯～乾燥する

洗濯のしかた

準備

水栓を開けて洗濯物を入れ、ドアを閉めます。



1  (切/入) ボタンを押して電源を入れる






2 コースを選ぶ
→「コースについて」(P 18)

3 オプションを選ぶ



各ボタンを押して時間・回数などを選びます。コースにより、設定できるオプションや項目が異なります。

→「コースについて」(P 18)

表示部には設定したオプションに対応するアイコンが点灯します。(温度を除く)

こんなときに	操作方法
洗い時間を変更したいとき	 (洗い) ボタンを押して、時間を選ぶ
すすぎ回数を変更したいとき	 (すすぎ) ボタンを押して、回数を選ぶ
脱水時間を変更したいとき	 (脱水) ボタンを押して、時間を選ぶ
洗いの温度(水温)を変更したいとき	 (温度) ボタンを押して、温度(水温)を選ぶ
洗濯のみコースで乾燥まで行いたいとき、乾燥の仕上がりを変更したいとき	 (乾燥) ボタンを押して、仕上がりを選ぶ 弱(d-1) / 標準(d-2) / 強(d-3) / なし(OFF) スピードコースのみ乾燥時間を選びます。
つけおき洗いしたいとき	 (つけおき) ボタンを押す 洗い工程の前に約20分つけおきします。

4 洗剤・柔軟剤の自動投入の設定を行う

表示部に  (洗剤)、 (柔軟剤)が点灯しているときは自動投入を行います。


▶ 自動投入の投入量を変更したいとき

 (洗剤)ボタンまたは  (柔軟剤)ボタンを押して投入量を選ぶ

洗濯量	AU	L1	L2	L3	L4
投入量	自動	少なめ	標準	多め	最大

▶ 洗剤を手動投入したいとき

 (洗剤)ボタンを押してOFFを選ぶ

表示部の  (洗剤)が消灯します。

5 (スタート／一時停止)ボタンを押す

ドラムが回転し、洗濯量を計量したあと、L1～L4が表示されます。

洗剤を手動投入する場合は、洗濯量に対応する洗剤量を目安に洗剤を手動投入口に入れてください。

洗濯量	洗剤量 (目安)
L1	0.6 杯
L2	0.8 杯
L3	0.9 杯
L4	1.1 杯

▶ 洗濯物を追加・取り出したいとき

▶「運転中・予約中にドアを開けて洗濯物を追加・取り出したいとき」(P 10)


お好み柔軟剤コースの場合

最終のすすぎの前に、ブザーが鳴り*、柔軟剤量の目安が表示されます。お好みの柔軟剤を手動投入口に入れ、スタート／一時停止ボタンを押してください。

*10分ごとにブザーで30分間お知らせします。

洗濯量	柔軟剤量 (目安)
L1	0.3 杯
L2	0.5 杯
L3	0.6 杯
L4	0.7 杯

乾燥待っててコースの場合

洗濯(洗い～すすぎ～脱水)が終わると、ブザーでお知らせ*します。 (途中追加)ボタンを長押し(約3秒)してドアを開け、乾燥しない衣類を取り出し、スタート／一時停止ボタンを押してください。

*10分ごとにブザーで30分間お知らせします。

6 ブザーが鳴ったら、水栓を閉じ、ドアを開けて洗濯物を取り出す

| 予約する

運転終了時間を予約できます。

準備

洗濯物を入れてドアを閉め、電源を入れる。

1 コースとオプションを選んだ後に (予約) ボタンを押して運転終了までの時間を設定する

- 押すたびに運転終了時間が切り替わり、予約アイコンが表示されます。
- 設定できる最短時間から1時間単位で24時間後まで設定できます。
- 予約を解除するには「0時間(OH)」に設定します。



2 (スタート/一時停止) ボタンを押す

- 洗剤を手動投入するときは、洗剤量表示を目安に洗剤を入れてください。
- 時間の経過に合わせて、運転終了時間の表示が切り替わります。
- 洗濯物を追加したいとき
➔「運転中・予約中にドアを開けて洗濯物を追加・取り出したいとき」(P 10)

予約の取り消しと変更



電源を切る

- 予約の変更は、電源を切った後に電源を入れなおし、最初からやりなおしてください。

デリケートな衣類を洗濯するとき (「おしゃれ着」コース)

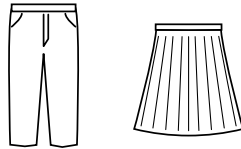
デリケートな衣類の洗濯に適しています。衣類の縮みを防ぐためにやさしく洗います。

洗えるもの ○

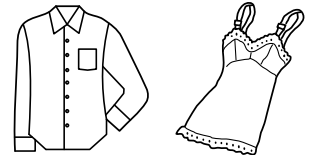
▶ 取扱い表示が  または  のおしゃれ着やデリケートな衣類
ウール、アンゴラ、カシミアのセーター、カーディガン類



スラックス、スカート、学生服類



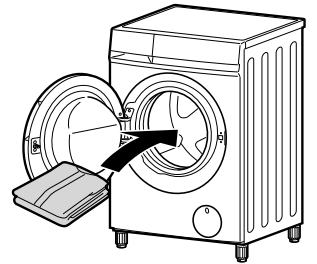
ブラウス、シャツ、ランジェリー類



▶ 衣類の入れかた

- ① 傷まないように裏返す
- ② ドラムに入る大きさにたたむ
- ③ 衣類の片寄りを防ぐため、平らになるように重ねて置く

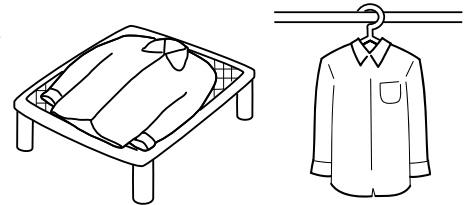
● セーターなど、水を吸って重くなるようなものを1枚だけで洗うと、脱水のときに振動が大きくなり運転が止まる場合があるため、バスタオルなどを一緒に入れて洗濯してください。



▶ 衣類の干しかた




- ① 衣類を手のひらで軽くたたいてシワを伸ばした後、形を整える
- ② 取扱い表示の干しかたにしたがって干す

● 脱水が足りないと感じる場合は、バスタオルなどで衣類をはさんで押さえ、水気をとってください。



▶ 衣類の量












約3 kg以下

衣類の重さの目安(1枚あたり)		
 セーター	 ランジェリー	 ブラウス
約400 g	約100 g	約200 g

毛布など大物を洗濯・乾燥するとき（「毛布」コース）

洗濯・乾燥できるもの ○

下記表示のある毛布や掛け布団


- (新記号)       
- (旧記号)    

洗濯・乾燥できないもの ✕

次のようなものは、毛倒れしたり、洗濯物を傷めたり、本体故障の原因になるので、洗濯や脱水、乾燥ができません。

- ・ 純毛の毛布
- ・ 電気毛布
- ・ ロングパイル(毛足10 mm以上)の毛布
- ・ カバー材質が絹もしくは防水性の布団
- ・ 詰め物素材が羊毛(ウール)の布団

また次のようなものは乾燥できません。

- ・ 取扱表示に  や「タンブル乾燥はおさげください」と表記されているもの
- ・ 絹100%の毛布
- ・ 詰め物素材が化繊以外の布団

洗濯・乾燥できる量

シングルサイズ	化繊100% 1枚(3 kg以下)
---------	-------------------

※ 毛布や布団などは、他の洗濯物と一緒にせず、洗濯してください。

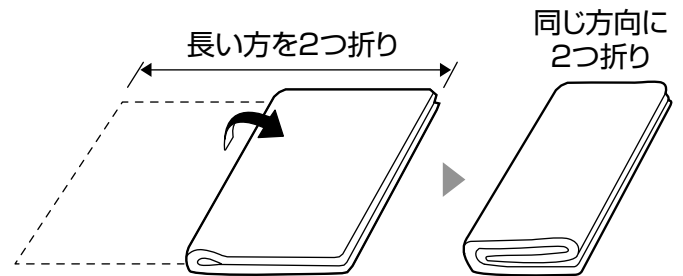
※ 洗濯物は1枚で運転しないと、洗濯物が損傷したり、本体が故障することがあります。

| 毛布など大物を洗濯・乾燥するとき(「毛布」コース)

掛け布団や毛布の入れかた

1 ゴミや糸くずを取り除き、右図のように折る

- 掛け布団の場合は長い方を3つ折りにする。



2 両端が奥になるように、ドラム内でびょうぶ折り(4つ折り)にして入れる

びょうぶ折りに







お願い

- ねじったり、丸めたり、無理に押し込んだりしないでください。乾燥時のシワや乾きムラの原因になります。
- 毛布洗いネットには入れないでください。毛布や掛け布団がドラム内で片寄って振動が大きくなり、脱水できなくなる場合があります。

洗濯が終了したら

- ドアを開け、洗濯物の中央を引っ張ってドラムからとりだしてください。

| 洗い・すすぎ・脱水・乾燥の個別運転

こんなときに	操作するボタン・ 運転について	お好みで設定できる内容 (下線が初期値)
洗いのみ (洗濯物の分け洗い)	 (洗い)ボタン 排水して終了します。	<u>14</u> /17/19/21/24分
すすぎのみ	 (すすぎ)ボタン 排水して終了します。	<u>1</u> /2/3回
脱水のみ	 (脱水)ボタン 排水から始まります。	<u>10</u> /11/12/8/9分
乾燥のみ	 (乾燥)ボタン 脱水から始まります。	標準(d-2)/強(d-3) /弱(d-1) / <u>15</u> /30/45/60/90分

1 各ボタンを長押し(約3秒)する

- 洗いの場合は「---」、その他は初期値の運転時間*が表示されます。

*脱水は排水を含む運転時間、乾燥は脱水を含む運転時間

2 各ボタンを押して時間や回数を選ぶ

3 (スタート／一時停止)ボタンを押す

- 運転残り時間*が表示されます。

*脱水は排水を含む運転時間、乾燥は脱水を含む運転時間のため、設定した時間と異なります。

乾燥について

乾燥だけの運転を繰り返すと、本体内部に糸くすがたまり性能が低下するため、5回に1回程度、「槽洗浄」「槽洗浄＋槽乾燥」コースを運転してください。水を流すことで、本体内部に付着した糸くずを洗い流します。

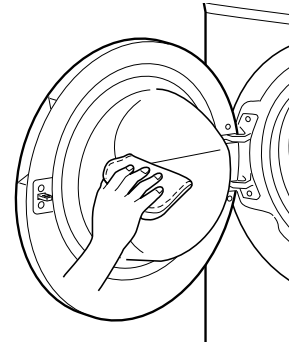
「槽洗浄」「槽洗浄＋槽乾燥」コース運転終了後は、排水フィルターのお手入れをしてください。

➡「ドラムのお手入れ」(P.30)

お手入れのしかた

ドアガラス面

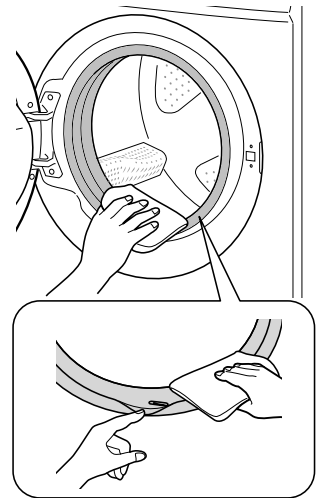
水滴や洗剤、汚れがついていたら、柔らかい布で拭き取ってください。



ドアパッキン

ドアパッキンの周囲に、糸くずや髪の毛などの異物が付いていたら、きれいに拭き取ってください。(水もれの原因になります。)

- ドアパッキンをめくった裏側や下部にある穴部などに糸くずや髪の毛、ヘアピンなどの異物がある場合は取り除いてください。(臭いの原因となります。)



ドア・操作パネル

乾いた柔らかい布で拭いてください。操作パネルを先のとがったもので押ししたりしないでください。部品の破損や故障の原因になります。

- ドアや操作パネルなどプラスチックの部分に、液体洗剤、柔軟剤、整髪料などが付着した場合は、すぐに絞ったタオルなどで拭き取ってください。放置しておくと、割れることがあります。特に濃縮液体洗剤は、プラスチック部分に付くと割れるおそれがありますのでご注意ください。

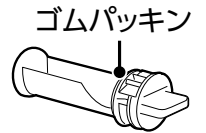
お手入れのしかた

排水フィルター



フィルター確認ランプが点灯したら、排水フィルターをお手入れしてください。

ご注意

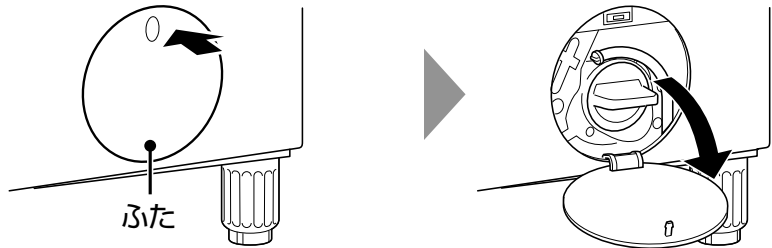
- 運転中やドラム、排水ホース内に残水がある場合は、排水フィルターを外さないでください。「E21」を表示した場合は、ドラム内に水が残っている可能性がありますのでご注意ください。多量の水が出るおそれがあります。
- お手入れの際に、排水フィルターのゴムパッキンを外さないでください。
- 市販のネットなどをかぶせて使用しないでください。水もれの原因になります。
- 乾燥中に出たほこりを排水フィルターに集める構造になっています。乾燥後は必ずお手入れしてください。



1 脱水運転する

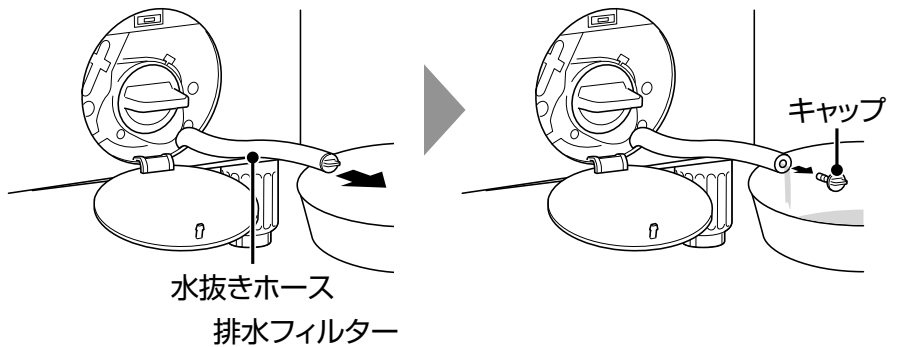
- 電源を入れ、 (脱水) ボタンを長押し(約3秒)する
-  (脱水) ボタンを押して「10分」を選び、スタートする

2 ふた上部を軽く押し込んでから、ふたを手前に倒して開ける

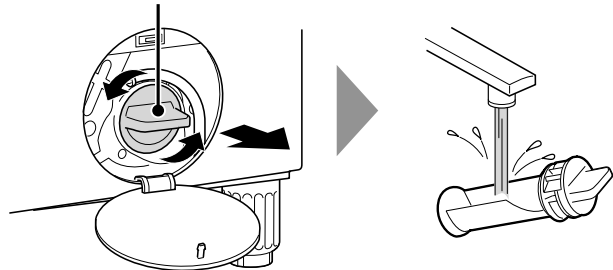


3 水を受ける容器を手前に置き、水抜きホースからキャップを取り、中の残水を抜く

水を抜いたら、キャップを取り付け、水抜きホースを元の位置に戻します。

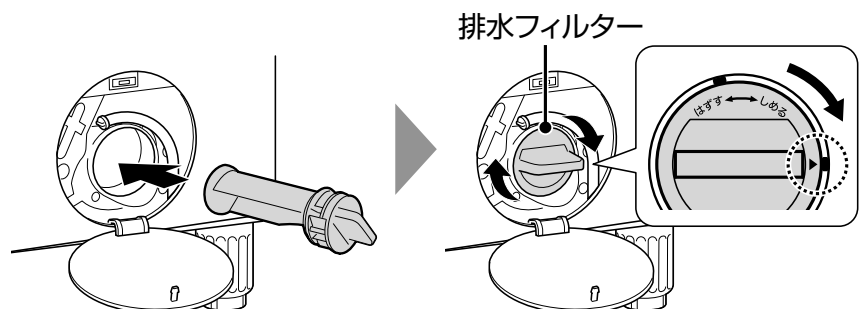


4 排水フィルターを左に回してから手前に引き出し、中の糸くずなどを取り除き、水洗いする



5 排水フィルターを差し込み、右に回してしっかりとはめ込んでからふたを閉める

排水フィルターの▶と印が合う位置まで回します。

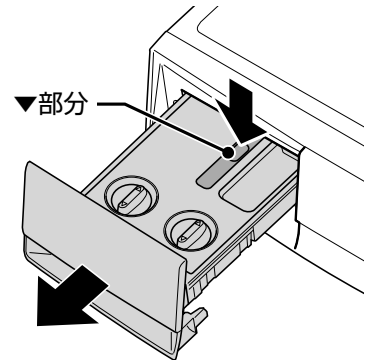


洗剤投入ケース

洗剤投入ケースを本体から外して水洗いしてください。また、外したあとの注水口の汚れも拭き取ってください。

1 本体から外す

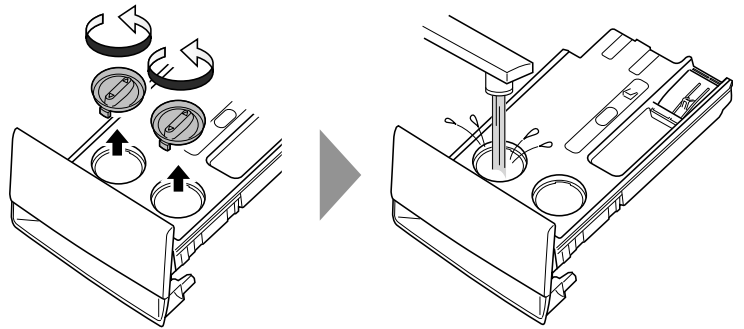
中央の▼部分を押しながら洗剤投入ケースを引き出します。



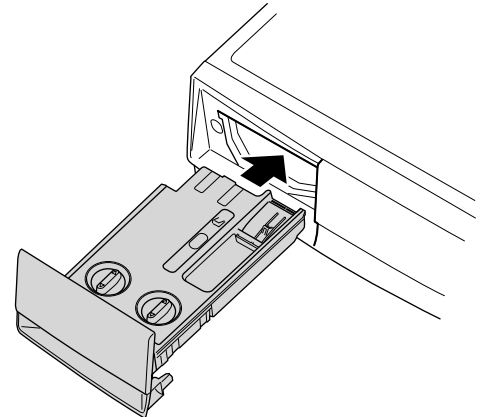
ご注意

- 洗剤投入ケースを傾けると液体洗剤や柔軟剤がこぼれるので注意してください。

2 タンクキャップを外し、手動投入口、自動投入タンクを水洗いする



3 乾いた布で拭き取り、本体に取り付ける



自動投入経路


2～3か月ごとを目安に、次のような場合もお手入れしてください。

- ・ 1か月以上、自動投入機能を使わなかったとき
- ・ 自動投入タンク内の液体洗剤や柔軟剤がゼリー状になっているとき

準備

洗剤投入ケースのお手入れを行ってください。


① お手入れする自動投入タンクのMAXまで40℃のぬるま湯を入れる

②  (切/入) ボタンを押して電源を入れ、次のボタンを同時に長押し(約3秒)する

洗剤自動投入タンクの場合 :  (洗剤) ボタンと  (途中追加) ボタン

柔軟剤自動投入タンクの場合 :  (柔軟剤) ボタンと  (途中追加) ボタン



③  (スタート/一時停止) ボタンを押す



④ 運転終了

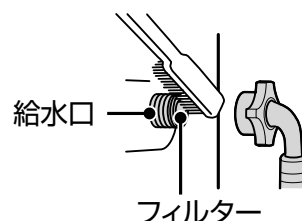
洗剤投入ケースを取り出し、残水を捨てて、水分を拭き取り、本体に取り付けてください。

お手入れのしかた

給水時、水の出が悪くなったとき

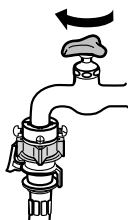
給水ホースを外し、給水口のフィルターを歯ブラシなどで掃除してください。
(給水口にゴミが詰まっていることがあります。)

- フィルターが付いていない、または変形していると故障の原因になりますのでご注意ください。
- 給水ホースをそのまま外すと水が飛び散りますので、下の手順で水抜きをおこなってください。





▶ 給水ホースの外しかた


① 水栓を閉じる



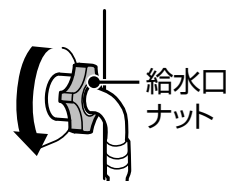
④ 残り時間が表示されてから、約2分待つ

②  (切/入) ボタンを押し、電源を入れる

⑤  (切/入) ボタンを押し、電源を切る

③  (スタート/一時停止) ボタンを押す

⑥ 給水口ナットを緩めて外す




ドラムのお手入れ

ドラムを乾燥する

本体内部に汚れが付着すると、黒カビが発生したり、臭いの発生や排水しにくくなることがあります。乾燥運転をほとんど利用されないかたは、1週間に1回程度、洗濯後の本体内部の湿気をとりのぞく「槽乾燥」コースで運転することをおすすめします。「槽乾燥」コースで運転するときは、衣類は入れないでください。

①  (切/入) ボタンを押して電源を入れ、 (お手入れコース) ボタンを押し、「槽乾燥」を選ぶ

-  (槽乾燥) が点灯します。

② ドアを閉め  (スタート/一時停止) ボタンを押す

③ 槽乾燥終了(ブザーでお知らせします)

ドラムを洗う／ドラムを洗って乾燥する



本体内部の汚れが蓄積すると洗濯中に汚れがはがれて洗濯物を汚すことがあります。




定期的に槽洗浄剤などを利用して「槽洗浄」または「槽洗浄+槽乾燥」コースで運転してください。

槽洗浄は温水で洗浄します。「槽洗浄」または「槽洗浄+槽乾燥」コースで運転するときは、衣類は入れないでください。

- 1** 水栓を開き、塩素系漂白剤をドラムに入れる

 - 容器に記載の使用量をご確認ください。
- 2** ドアを閉める

 - 衣類は入れないでください。
- 3**  (切/入) ボタンを押して電源を入れ、 (お手入れコース) ボタンを押し、「槽洗浄」または、「槽洗浄+槽乾燥」を選ぶ

 -  (槽洗浄) または  (槽乾燥) が点灯します。
- 4**  (スタート/一時停止) ボタンを押す
- 5** 運転終了(ブザーでお知らせします)

 - 「槽洗浄」「槽洗浄+槽乾燥」コース運転終了後は、排水フィルターのお手入れをしてください。

排水口の掃除

月に1度、排水口の糸くずを取り除いてください。

- 1** 排水ホースを、排水口から外す

 - 残水がもれることがあるので注意してください。
- 2** 排水口についている糸くずを取る
- 3** 排水ホースを排水口に差し込む

 - ➡「排水口への取り付け」(P 37)
 - 試運転を行い、脱水および水もれがないかを確認してください。
➡「試運転」(P 45)

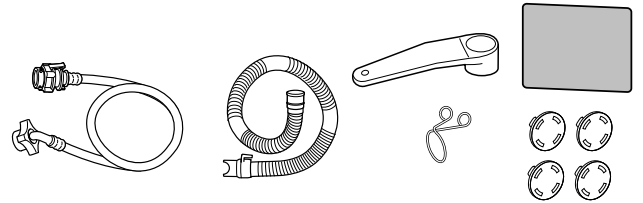
据え付け

据え付けはお客様が行わず、販売店か据付専門業者にご依頼ください。
指定の付属品を使わなかったり、取扱説明書どおりに据え付けや接続、試運転を行わず事故や損害が生じた場合、保証の対象外となります。

付属品の確認

① ドアを固定しているテープをはがし、ドアを開ける

② 付属品を取り出す



③ テープを元通りに貼り付ける

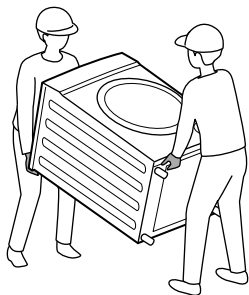
- テープを貼らないと、運搬時にドアが開く可能性があります。

本体運搬のご注意

運搬するときは、必ず2人以上で運んでください。けがをしないために、必ず軍手などの保護具を着用し、天板後部、本体前面下部を持って運んでください。

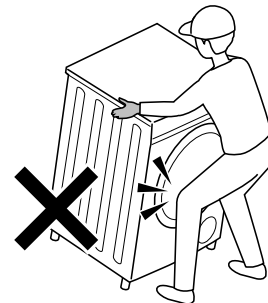
ドアやドアパッキンなどを持って本体を移動させないでください。

脚部を軸にして回転させないでください。脚ゴムが変形したり、床面を傷つけるおそれがあります。



必ず軍手などの保護具を着用してください。

天板は中央部を持たず、両端に近い部分を持ってください。



ご注意

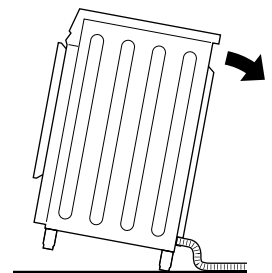
- ひざなどで押さないでください。

ご使用後、製品を移動する場合のご注意

本体を傾けると、排水ホースから水が出てくる場合があります。

移動する前に、排水ホースを排水口に差し込んだまま、約5秒程本体を後方に傾け、水を抜いてください。

けがを防ぐため、作業は必ず2人以上で行ってください。

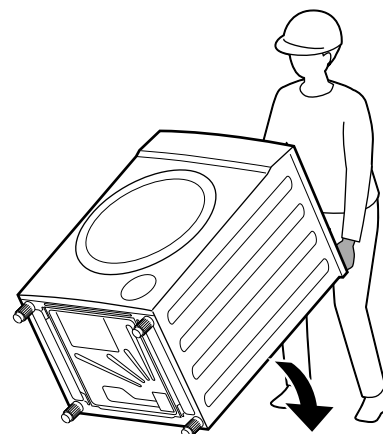


クッションの貼り付け

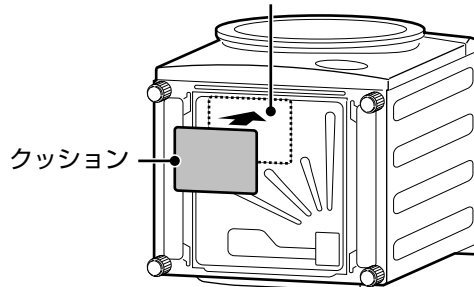
ご注意

- 本体および床や壁、周囲の家具などを傷つけないよう、必ず保護シートや養生材を敷いて作業してください。

- 1 背面が下になるように本体をゆっくり倒して置く



クッション
貼り付け位置



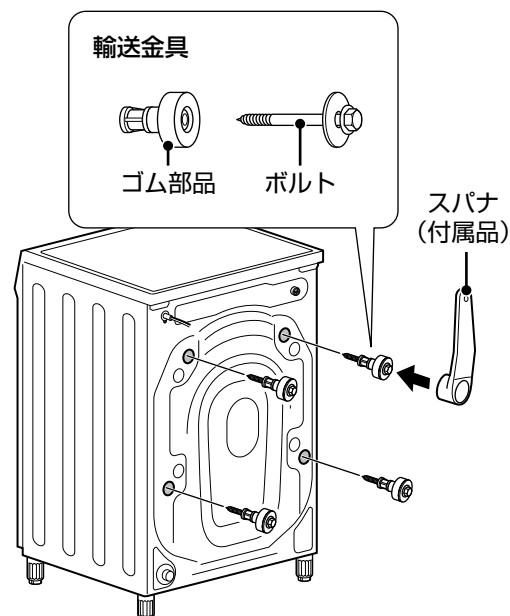
- 2 底面の図の位置にクッションを貼り付ける

輸送金具の取り外し

ドアパッキンがゆがんでいることがあります。故障ではありません。輸送金具を取り外したあと、時間の経過とともに元に戻ります。

輸送時に内部機構を保護していた4本の輸送金具を外してください。輸送金具がついたまま運転した場合、異常振動や故障の原因になります。

- 1 付属のスパナで輸送金具(4本)のボルトをゆるめ、抜き取る
- 2 輸送金具のゴム部品を揺らしながら引っぱり、抜き取る



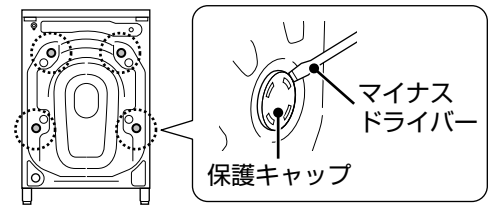
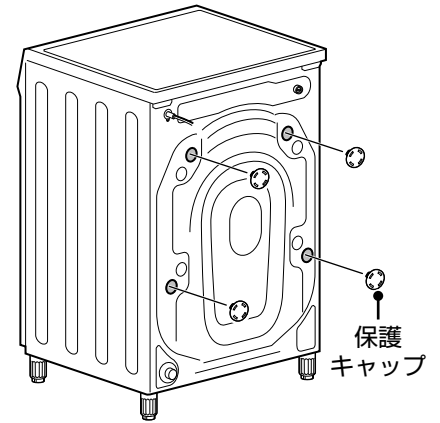
次のページにつづく➡

据え付け

- 3** 輸送金具が取り付けられていた箇所(右図の4か所)に、同梱の保護キャップをツメがかかるまで確実にはめ込む

お願い

- 外した輸送金具、付属のスパナは転居などの本体輸送の際に必要となりますので、必ず保管してください。
- 本体輸送の際は、マイナスドライバーなどで保護キャップを外し、必ず輸送金具を取り付けてください。



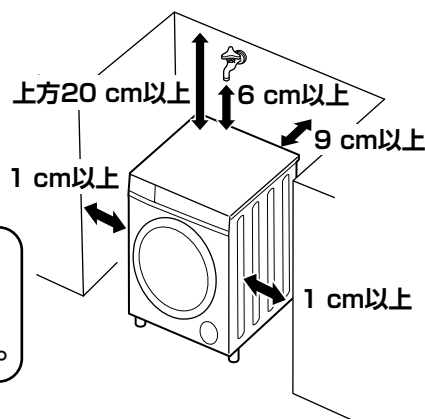
設置場所の確認

据え付けに必要な寸法の確認

本体は上面を20 cm以上開放して、背面と側面を壁から下図の寸法以上離します。壁面とのすき間がせまいと、壁との接触による異常音の原因となります。排水ホースを通す側の側面は、壁から10 cm以上離してください。異常な振動や音を防ぐためです。

壁とのすき間を設ける
背面:9 cm以上
水柱:6 cm以上

排水ホースを通す側は
10 cm以上
すき間をあけてください。



警告



水場での
使用禁止

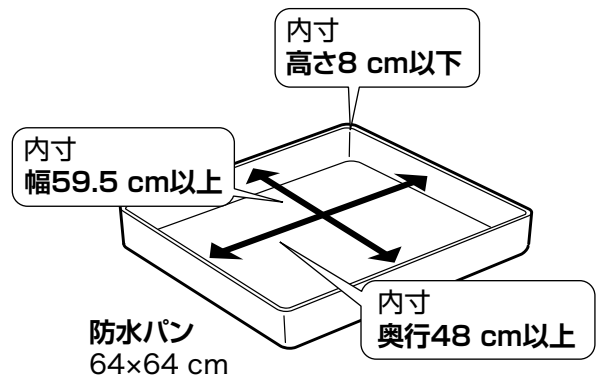
風雨にさらされるベランダや
庭、浴室など水場や湿気の多い
場所に設置しない

- 感電や漏電火災の原因となります。
- 結露により、壁や床にカビが発生する原因となります。

■ 防水パンの寸法の確認

一般的な防水パン64×64 cmに設置することができます。

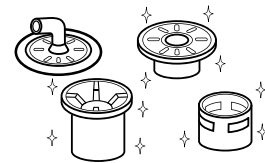
- 防水パンがなく木床などに直接据え付ける場合や室温が低いとき、湿度が高いときに冷水などを使って洗濯する場合に、本体の内側が結露し、床面をぬらすことがあります。洗濯機トレイのご使用をおすすめします。



■ 排水口の確認

排水ホースを取り付ける前に、排水口を掃除してください。

- 排水口には糸くずや汚れがたまりやすく、放置しておくと、水もれや排水不良、悪臭の原因になります。



■ 安定した水平な床に据え付けてください。

⚠ 注意

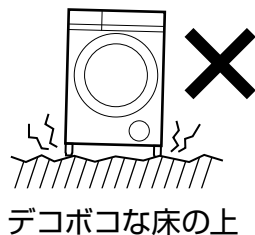
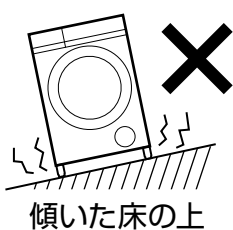


不安定な場所に設置しない

- ・キャスター付きの台
- ・タイルなどのすべりやすい床
- ・ベランダや強度の弱い床

高いところに設置しない

- 振動や騒音、床の損傷などで本体が転倒や落下、移動してけがや、家財の破損の原因になります。



カーペットなど、底面の通気をさまたげる場所に設置しない

- 火災の原因になります。



電源コードをはさまない

- 電源コードが断線して、ショートなどによる感電や火災の原因になります。



テレビ・ラジオなどの家電製品に近づけない

- 画像の乱れ・雑音の原因になります。



直射日光のあたる場所に設置しない

- 紫外線でプラスチック部が破損したり、変質や故障の原因になります。



冬期に凍結のおそれのある場所には設置しない



包装用台座は据え付け台として使わない

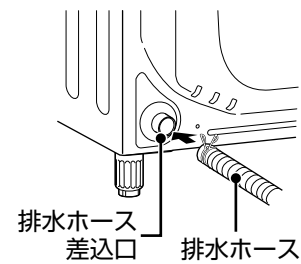
- 故障の原因になります。

据え付け

排水ホースの取り付け

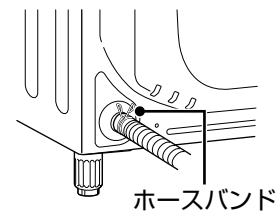
1 排水ホースを差込口にしっかり差し込む

- 差し込みが不十分な場合、水もれする場合があります。

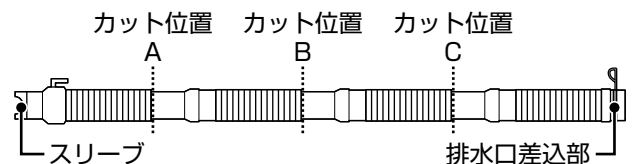


2 ホースバンドを本体に取り付ける

- 本体の差込口とホースバンドの差し込み部が重なり合う部分に取り付けます。

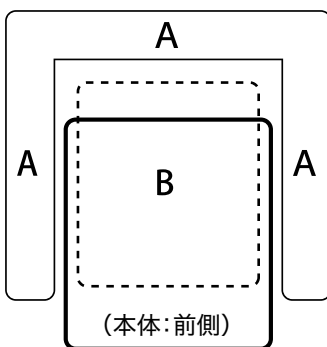


3 排水ホースが長い場合はA～Cの位置でカットして、先端にスリーブをはめ直す



4 排水ホースを排水口に接続する

■ 排水口の位置の確認



A: 排水口が本体の右側、左側または後側にある場合、そのまま排水ホースを排水口に接続します。

B: 排水口が本体の下にある場合、真下排水パイプと高さ調整板を使用して排水口に接続します。

⚠ 警告



確実に排水できる場所に設置する

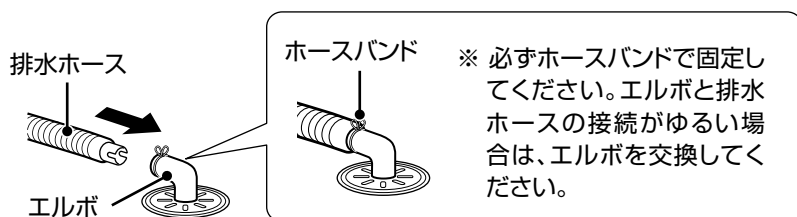
- 水もれによる家財の破損、排水不良による漏電で感電や火災の原因になります。

■排水口への取り付け

A：排水口が本体の右側、左側または後側にある場合

排水口にエルボがある場合

排水ホース先端をエルボにしっかり差し込み、ホースバンドで確実に固定します。

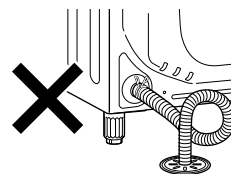


⚠ 注意



排水ホースについて

- ・たるませたり、ねじったりしない
- ・本体底面とこすれないようにする
- ・高低差を9 cm以内にする
- ホースに穴が開いたり、損傷して水もれや故障の原因になります。



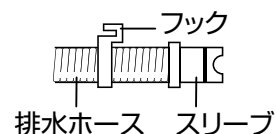
排水口にエルボがない場合

排水ホースの先端を排水口に差し込みます。

- 排水ホースの先端のスリーブは、ホースの先端のすき間を設けるものです。外さないでください。



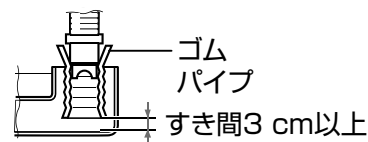
- 排水ホースを排水口に差し込むときは、フックをずらします。



- ホースの先と排水口の底に3 cm以上のすき間を設けてください。

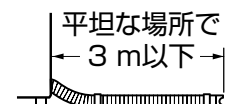


- 防水パンの場合、ゴムパイプの先に3 cm以上のすき間を設けてください。



■排水ホースの延長

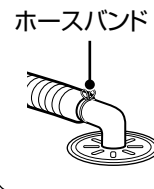
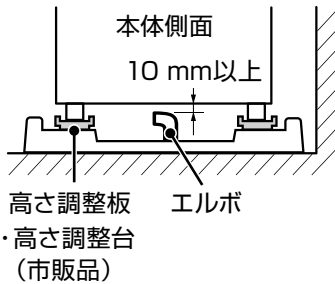
- 排水ホースを延長したいときは市販の「排水延長ホース」をお使いください。平坦な場所で3 mまで延長できます。
- ホースは水が流れやすい平坦な場所に置いてください。



B：排水口が本体の下にある場合

排水口にエルボがある場合

エルボの上面と本体底面が10 mm以上確保できるように「高さ調整板・高さ調整台」(市販品)を使って高さを調整する。排水ホース先端をエルボにしっかり差し込み、ホースバンドで確実に固定します。



⚠ 注意



排水ホースについて

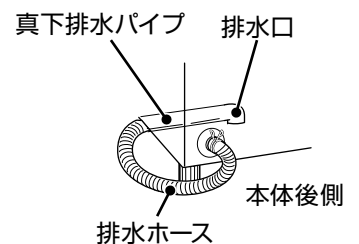
- ・たるませたり、ねじったりしない
- ・本体底面とこすれないようにする
- ・曲げたり、重ねたりしない
- ホースに穴が開いたり、損傷して水もれや故障の原因になります。

※必ずホースバンドで固定してください。エルボと排水ホースの接続がゆるい場合は、エルボを交換してください。

排水口にエルボがない場合

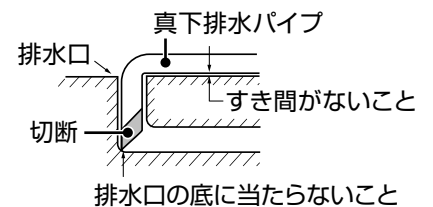
① 「真下排水パイプ」(市販品)と「高さ調整板・高さ調整台」(市販品)を使って排水溝に接続する

- 排水ホースを真下排水パイプに取り付けたあと、排水口に確実に取り付けてください。
- 真下排水パイプは浮かないように取り付けてください。



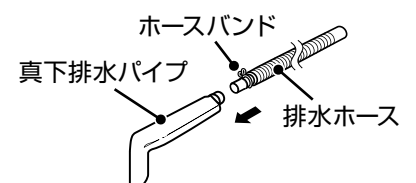
② 真下排水パイプを排水口の深さに合わせて調整する

- 真下排水パイプは、設置場所に合わせた長さのものをご用意ください。
- 排水口が床面より上にでているときは、床面と同じ高さになるまで排水口を切断してください。
- 真下排水パイプが排水口の底に当たるときや、排水口の底との間にすき間がないときは、真下排水パイプ先端を切り、調整してください。



③ 真下排水パイプと排水ホースを接続する

- 真下排水パイプの外周と排水ホースの内周に、真下排水パイプ付属の接着剤を均等に塗り、差し込んだ後、ホースバンドで固定してください。



給水ホースの取り付け

■ 水栓の確認

接続できる水栓



- 埋め込み水栓には、レバーが確実にかけられなかったり、しっかり差し込めない場合があります。水栓メーカーにお問い合わせください。

接続できない水栓



- 自在水栓、万能ホーム水栓、ワンタッチ給水栓に取り付けの場合は、市販の「給水栓ジョイント」を使用してください。

■ ホース継手を水栓に取り付ける

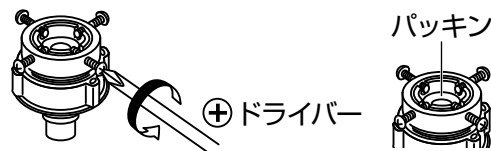
① 水栓の直径を確認する

- 直径が18 mm以上のときは、継手リングを外します。



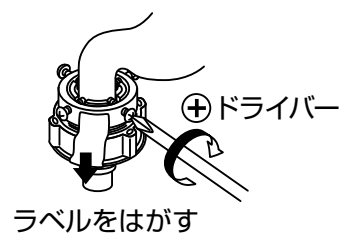
② ホース継手の4本のネジを緩める

- パッキンがあることを確認してください。



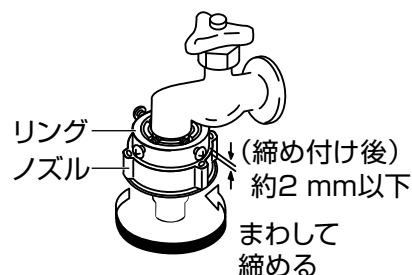
③ ホース継手を蛇口に押し当て、ネジ4本を均等に締める 締めた後ラベルをはがす

- ノズルとリングのすき間が約4 mmであることを確認してください。
- 壁側のネジ1本をあらかじめ調整しておくとうり付けやすくなります。
- 取り付けるときは、水栓がパッキンの中心になるようにネジを均等にしっかり締め付けてください。



④ ノズルを右にまわして締め付ける ノズルとリングのすき間が2 mm以下であることを確認する

- ノズルとリングのすき間が広いと水もれのおそれがあります。
- 使用中に水もれするときは、ノズルをさらに締め付けてください。
- 継手のネジやノズルをさらに締め付けたり、付けなおしても水もれするときは、ホース継手を取り換えてください。

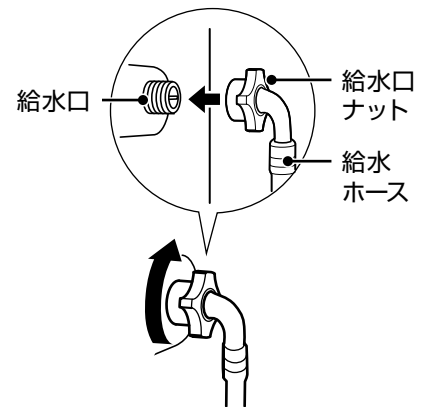


据え付け

■ 給水ホースを本体の給水口に取り付ける

- 給水ホースの先についている給水口ナットを本体の給水口のねじにかぶせて、しっかり締め付けます。
- 給水ホースと付属品のホース継手を実際に取り付けないと、水もれの原因になります。
- 水栓への給水ホースの取り付けには、必ず付属品の「ホース継手」を使用してください。

※ 給水ホースを延長するときは、市販の給水延長ホースを使用してください。
※ 据え付けるとき・移設するときは、必ず新品の給水ホースを使用してください。
※ 古くなった給水ホースは、水もれなどのおそれがあります。再利用しないでください。

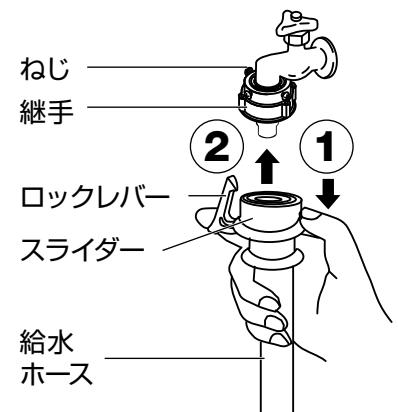


■ 給水ホースと継手の取り付けかた

① スライダーを引き下げながら、継手に差し込む

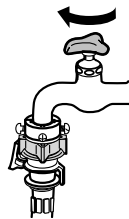
② スライダーを離して、「パチン」と音がするまでホースを押し上げる


- 給水ホースのロックレバーが、継手のツバ部にしっかり掛かっていることを確認してください。
- 給水ホースをひっぱり、抜けないことを確認してください。
- 本体の電源は入れないで、水栓を開きホース継手などから水もれがないことを確認してください。




■ 給水ホースの外しかた


① 水栓を閉じる



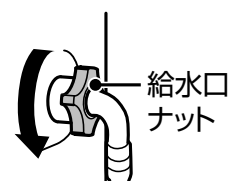
②  (切/入) ボタンを押し、電源を入れる

④ 残り時間が表示されてから、約2分待つ

⑤  (切/入) ボタンを押し、電源を切る

③  (スタート/一時停止) ボタンを押す

⑥ 給水口ナットを緩めて外す



注意



水もれ確認

洗濯前に水栓を開き、給水ホース接続部のゆるみや水もれのないことを確認する

●ねじやホース接続などがゆるんでいると、水もれて床などの家屋や家具などをぬらしたり、破損したりすることがあります。

お願い

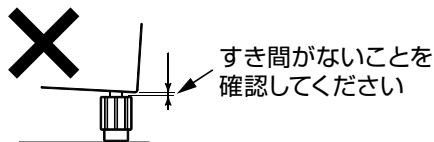
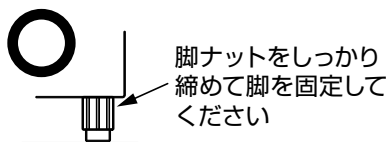
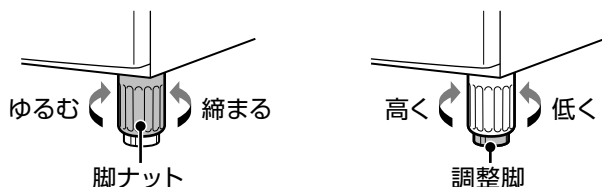
- 確認終了後は、必ず水栓を閉めてください。
- 給湯器設備には取り付けないでください。

水平・ガタつきの確認と調整

- 設置するときには、本体が水平になるように調整し、ガタつかないように脚で調整してください。本体手前の脚が調整可能です。
- 設置場所がせまく調整しにくいときは、設置場所の手前で一旦調整しておき、設置後に再調整することをおすすめします。
- 脚の調整は、本体の上部を支えながら行ってください。本体底部は持たないでください。

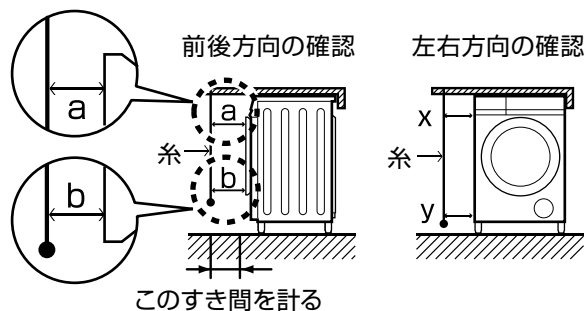
1 ガタつかないように脚を調整する

●脚ナットを緩め、調整脚をまわして高さ調整をした後、脚ナットをしっかり締めて固定してください。また、本体前側の底部が床に当たったり、防水パンのコーナー部などに乗り上げたりしないようにしてください。振動や異常音の原因になります。



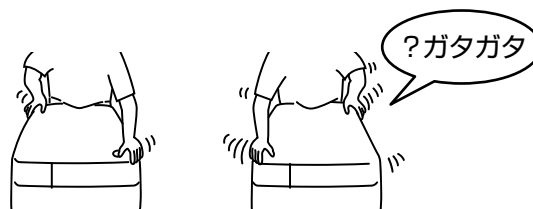
2 本体が水平になっているか確認する

●おもりを付けた糸を下げます。a、bおよびx、yのすき間が1 cm以下になるように調整します。



3 本体の対角線上の角を押して、ガタつきがないか確認する

●ガタつきがあると振動が大きくなったり、異常音が出たりします。ガタつきがあるときは、もう一度調整してください。

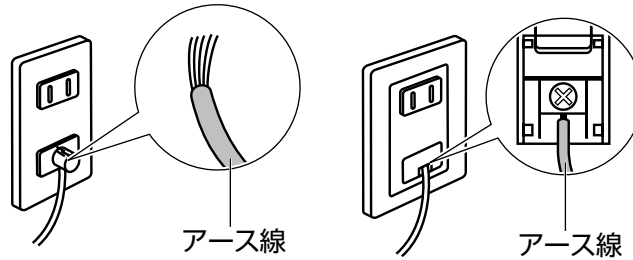


据え付け

アース線の取り付け

アース端子付きコンセントを使用する場合

- 本体から出ているアース線を、電源コンセントのアース端子に確実に接続してください。
- アース線は先端の皮をむき、コンセントのアース端子につないでください。
- アース線は、外れたり、端子がゆるんでいないか、ときどき点検してください。



コンセントにアース端子がない場合

- 法令により電気工事士によるD種接地工事が必要です。販売店または電気工事店にご依頼ください。

お願い

- ガス管や電話線、避雷針、水道管には接続しないでください。

電源コードの接続

■ 電源プラグをコンセントに差し込む

⚠ 警告



電源コードを傷つけたり変形させたりしない
(無理に曲げる、ねじる、引っ張る、束ねる)
また、重いものをのせたり、熱器具へ近づけたりしない

● 火災や感電の原因になります。



電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込み、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

● 火災や感電の原因になります。



交流 100V・定格15A以上のコンセントを単独で使う

● 他の機器と併用すると分岐コンセント部が異常発熱し火災の原因になります。



本体を電源プラグに押し付けない

● 設置時は、本体で電源プラグを押し付けないように注意してください。



電源プラグやコードを金属のものに引っ掛けない、熱器具に近づけない

● 火災や感電、けがの原因になります。



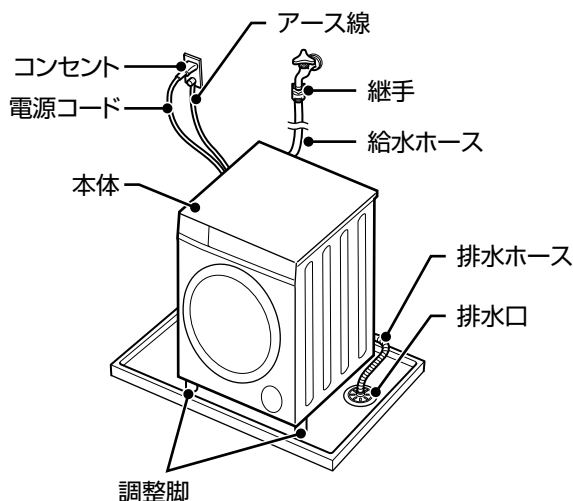
電源プラグを抜くときは、コードを持たず、電源プラグを持って抜く

● 感電やショートなどによる発火の原因になります。

チェック項目

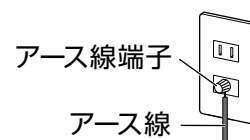
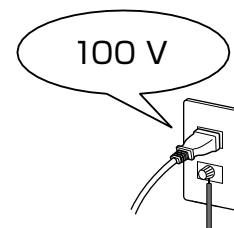
■ 設置が完了しましたら、チェック項目を確認してください

正しく設置できていないと異常振動・騒音や水もれの原因になります。



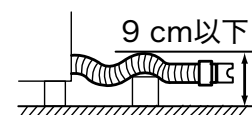
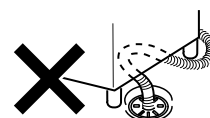
アース線・電源

- チェック アース線はしっかり接続されていますか？
感電防止のため、必ずアース線を取り付けてください。
- チェック 交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使っていますか？
コンセントのゆるみや電源コード・プラグの傷みはありませんか？
- チェック 電源コードを製品本体で踏みつけたり、はさみ込んだりしていませんか？
- チェック 電源コード・アース線が本体に接触していませんか？



排水ホース

- チェック 排水できますか？
- チェック 排水ホースの先端がふさがれていませんか？
- チェック 排水ホースが途中で9 cm以上立ち上がっていませんか？
- チェック 排水ホースによじれ・つぶれ・浮き上がり・こすれはありませんか？
- チェック 排水ホースの長さは3 m以下になっていますか？
- チェック 排水ホースや接続部などから水もれしていませんか？



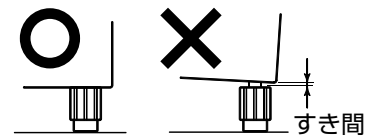
| 据え付け

給水ホース

- チェック 給水ホース・継手は新品を使用しましたか？
- チェック 継手にゆるみ・ぐらつき・傾きがありませんか？
- チェック 給水ホースのナットは斜めにならないように締めてありますか？
- チェック 給水ホースのナットは強く締まっていますか？
- チェック 給水ホースにねじれや折れ曲がりはありませんか？
- チェック 給水ホースの接続に余裕がありますか？
- チェック 水栓側および本体側の給水ホース接続部から水もれしていませんか？









本体

- チェック 本体背面にある輸送金具(4本)を取り外しましたか？
- チェック 水準器などにより本体を水平に設置しましたか？
- チェック 設置面に調整脚が完全に載っていますか？
- チェック 本体上端の対角(右前・左後および左前・右後)を押さえたとき、ガタつきはありませんか？
- チェック 脚ナットはしっかり締まっていますか？

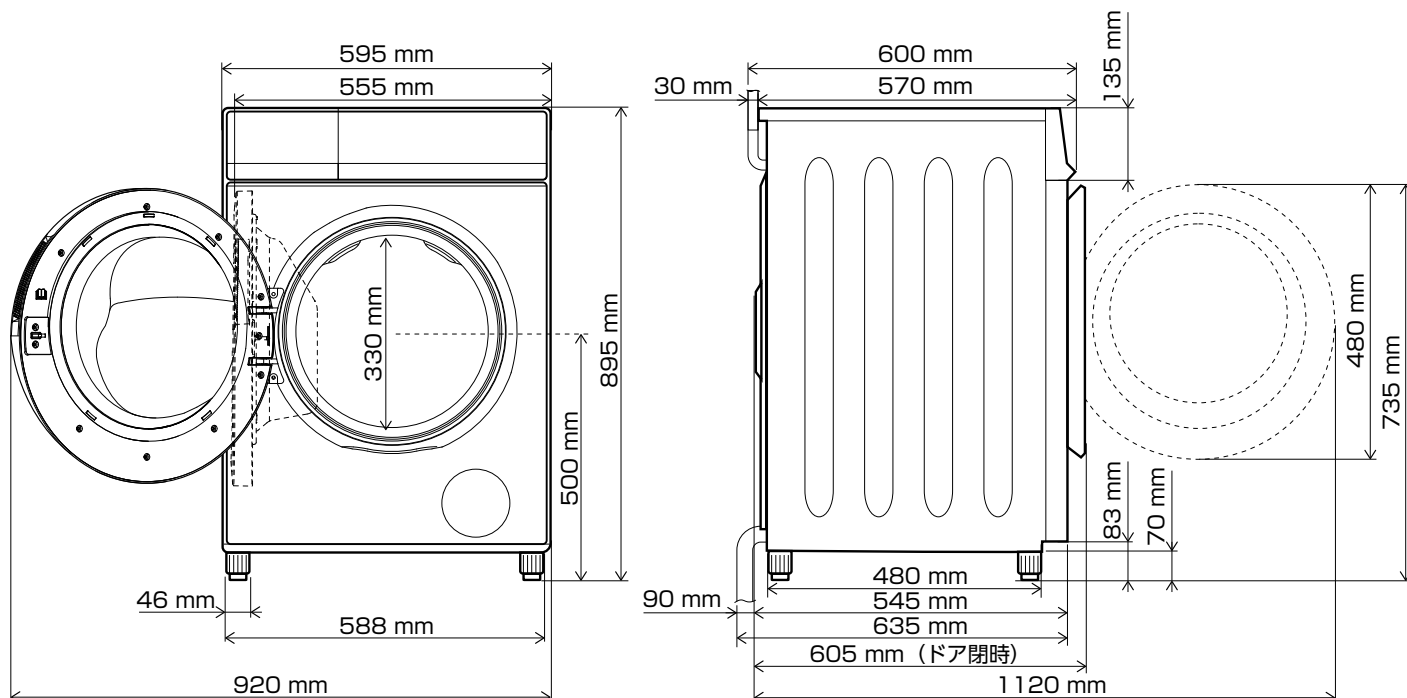


試運転

■「洗い」「脱水」の運転の確認

1. 電源プラグを差し込み、水栓を開き、給水ホースや接続部から水もれがないことを確認します。
2. ドアを閉め、 (切/入) ボタンを押して電源を入れ、 (スタート/一時停止) ボタンを押します。
3. 約4分運転し、異常音、水もれがないことを確認します。 (スタート/一時停止) ボタンを押し、 (途中追加) ボタンを長押し(約3秒)し、ドアロックが解除されることを確認します。
4.  (切/入) ボタンを押し、電源を切ります。
5.  (切/入) ボタンを押し、電源を入れます。
6.  (脱水) ボタンを長押し(約3秒)して脱水運転を行い、排水口、排水ホースから水もれがないことを確認し異常音、異常な振動がないことを確認します。
7.  (切/入) ボタンを押し、電源を切ります。

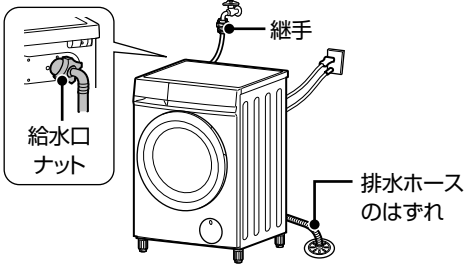
製品寸法図



故障かな？と思ったら

— 修理を依頼するまえにご確認ください —

	こんなとき	ここを確認してください
運転動作	運転しない	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグは、コンセントにしっかり差し込まれていますか。 電源が入っていますか。 「スタート/一時停止」ボタンを押しましたか。 停電していませんか。 ご家庭のブレーカーが切れていませんか。 予約中ではないですか。
	操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> チャイルドロックを設定していませんか。チャイルドロック設定中は、チャイルドロックの解除以外の操作ができなくなります。
	オプションが変更できない	<ul style="list-style-type: none"> コースにより、設定できるオプションや項目が異なります。▶「コースについて」(P 18)
	一時停止をしてもドアが開かない	<ul style="list-style-type: none"> 途中追加ボタンを長押し(約3秒)するとドアを開けることができます。 ▶「運転中・予約中にドアを開けて洗濯物を追加・取り出したいとき」(P 10)
	一時停止して途中追加ボタンを押してもドアが開かない	<ul style="list-style-type: none"> 次のときはドアを開けることができません。 <ul style="list-style-type: none"> ・乾燥中 ・ドラム内の水位が高いとき ・(水温変更時)水温が高いとき ・槽洗浄、槽乾燥、槽洗浄+槽乾燥コース運転中
給水・排水	水量が少ない(水位が低い)	<ul style="list-style-type: none"> ドラム式は洗濯液を循環させて少ない水量で洗うのが特長です。異常ではありません。
	スタートすると排水が始まる	<ul style="list-style-type: none"> ドラム内に水が残っている場合は、排水してから運転を開始します。
	途中で給水する	<ul style="list-style-type: none"> 洗濯中に水位が下がると給水します。
洗剤	自動投入されない	<ul style="list-style-type: none"> 自動投入しない設定になっていませんか。▶「洗濯する/洗濯～乾燥する」(P 20) 自動投入タンクの残量が少なくなっていますか。▶「操作パネルの見かた」(P 9) 1回あたりの使用量はわずかなため、目視では正しく投入されたかわからないことがあります。 経路が詰まっていますか。自動投入タンクと自動投入経路をお手入れしてください。▶「洗剤投入ケース」「自動投入経路」(P 29) お好み柔軟剤コースはお好みの柔軟剤を手動投入口に入れてください。
	同じ洗濯量なのに洗剤量が違うことがある	<ul style="list-style-type: none"> 洗剤量の表示は目安です。洗濯物の種類や湿った衣類の混在、ドラム内での状態や動きかたによって、洗剤量表示は変わります。
洗濯	泡が多く発生する	<ul style="list-style-type: none"> 洗剤の入れすぎなどで泡が多く発生すると、よくすすげなかったり、運転できなくなるおそれがあります。必ず洗剤を正しく量って入れてください。正しい洗剤量でも水質・衣類の種類・汚れ具合により、泡が多く発生する場合があります。その場合は洗剤量を減らしてください。
脱水	脱水が終わらない	<ul style="list-style-type: none"> 厚手のものやかさばるものを1枚だけで脱水したり、洗濯ネットに入れた洗濯物だけを脱水したりすると、片寄りやすいため、振動が大きくなり脱水できなくなることがあります。バスタオルや他の衣類を1、2枚追加して一緒に洗濯してください。
	異常な音がする 振動が大きい	<ul style="list-style-type: none"> 輸送金具を外しましたか。 本体に傾きやガタつきがありませんか。水平でない場合は、本体の調整脚で調整してください。 ヘアピンや金物など、異物がまぎれこんでいませんか。 厚手のものやかさばるものを1枚だけで脱水したり、洗濯ネットに入れた洗濯物だけを脱水したりすると、洗濯物が片寄り、振動が大きくなる場合があります。 衣類のバランスや床の状態によっては、脱水の起動時に一時的に本体が振動したり、ガタつき音がすることがありますが、異常ではありません。

	こんなとき	ここを確認してください
乾燥	乾きが悪い 乾きムラがある 乾燥時間が長い	<ul style="list-style-type: none"> 厚手の衣類が混じている場合は、湿り気が残ることがあります。乾燥の仕上がりを「強」にしてください。▶「洗濯する／洗濯～乾燥する」(P 20) 衣類を入れ過ぎていませんか。 脱水時間を短く設定していませんか。しっかり脱水し、乾燥の前に洗濯物を取り出して、よくほぐしてからドラムへ入れ直してください。 綿の洗濯物(タオルなど)が多いときなどは、ドラムから洗濯物がはがれずに乾燥運転することがあります。他の衣類(化繊のものなど)と一緒に運転するか、脱水後にほぐしてから乾燥運転してください。 室温が低い場合は、湿り気が残る場合があります。乾燥の仕上がりを「強」にするか、運転終了後に追加乾燥してください。 衣類の素材・種類・量によって、乾燥時間が延びる場合があります。
	本体上部が熱い	<ul style="list-style-type: none"> 本体の上部・前面・側面は、運転中や運転後しばらくは熱くなることがあります。
	乾燥後、ドアやパッキンに水滴が付く	<ul style="list-style-type: none"> 乾燥時間を変更した場合など運転条件によっては、運転終了時にドアやドアパッキンに水が残ることがありますが、異常ではありません。水滴を拭き取ってください。
時間表示	残り時間表示と実際の所要時間が違う 残り時間が減らない	<ul style="list-style-type: none"> 表示された残り時間は目安です。洗濯物の種類や量、洗剤の種類や量、水温、室温、水道水圧、排水の状態、布の片寄り具合などによって、実際の所要時間や残り時間表示は変動します。 次のような場合は、運転時間が長くなる場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> 水道水の給水量が少ないとき／排水に時間がかかるとき 脱水で洗濯物が片寄ったとき 洗いや脱水運転中に多量の泡が発生したとき 水温を変更しているとき 衣類を入れすぎているとき
におい	においが気になる	<ul style="list-style-type: none"> 乾燥機能の使いはじめは熱によってドアパッキンや部品からにおいがすることがあります。使用時間が経つにつれ軽減されます。 排水口にたまった汚れのにおいが逆流することがあります。排水口は定期的にお掃除してください。
水もれ	水がもれる	<ul style="list-style-type: none"> 給水ホースを正しく取り付けていますか。 排水フィルターお手入れ後、つまみをしっかり締め付けましたか。 排水ホースが外れたり、破れたりしていませんか。 ドアに衣類が挟まっていますか。 ドアパッキンに糸くずなどが付着していませんか。 排水フィルターのパッキンや取り付け部に糸くずなどが付着していませんか。 
	排水フィルターを引き出すと水が出る	<ul style="list-style-type: none"> ドラム内や排水経路に水があると、排水フィルターを引き出した際に水が出てきます。水抜きホースからドラム内や排水経路の水を排出してください。▶「排水フィルター」(P 28)
音	洗い・すすぎ時	<ul style="list-style-type: none"> 「コンコン」音：ドラムが反転するときの音です。異常ではありません。 「カチカチ」音：衣類のボタンやファスナーなどがドラムやドアに当たる音です。異常ではありません。
	脱水時	<ul style="list-style-type: none"> 「ポコポコ」音：排水途中で空気と水が混ざりあったときに発生することがありますが、異常ではありません。 「キーン」音：モーターの動作音です。異常ではありません。
	乾燥時	<ul style="list-style-type: none"> 「キーン」音：モーターの動作音です。異常ではありません。 「カチカチ」音：衣類のボタンやファスナーなどがドラムやドアに当たる音です。異常ではありません。

こんな表示が出たら

表示	状態	点検箇所・対処方法
	チャイルドロック中	▶ チャイルドロック中に操作すると「CL」が表示され、操作できません。チャイルドロックを解除してください。
	排水フィルターが外れている	▶ 排水フィルターを取り付けてください。
	給水できない	▶ 次のことを点検し、 (スタート/一時停止) ボタンを押してください。 <ul style="list-style-type: none"> • 水栓を開いていますか？ • 給水口のフィルターにゴミなどが詰まっていますか？ • 断水していませんか？
	排水できない 排水できないおそれ	▶ 排水フィルター・排水ホース・排水口の状態を点検し、 (スタート/一時停止) ボタンを押してください。 <ul style="list-style-type: none"> • 排水フィルターに糸くずがたまっていますか？排水フィルターを掃除してください。 • 排水ホースが正しく取り付けられていますか？ • 排水ホースを倒してありますか？ • 排水ホースが凍結していませんか？ • 排水ホースがつぶれていませんか？ • 排水ホースまたは排水口に砂、ドロ、糸くずなどが詰まっていますか？
	ドアロックできない	▶ 次のことを点検し、 (スタート/一時停止) ボタンを押してください。 <ul style="list-style-type: none"> • ドアはしっかり閉まっていますか？ • ドアロック部分に洗濯物などがはさまっていませんか？
その他の表示 	など	▶ 電源をいったん切り、1分ほどしてから入れ直してください。同じ表示が出る場合は故障のおそれがありますので、水栓を閉じて電源プラグを抜き、すぐに点検・修理を依頼してください。
		▶ 電源をいったん切り、入れ直してください。

フィルター確認ランプについて

排水フィルターに糸くずがたまっていない場合にも、排水状態や運転状態、洗濯物の状態などによりフィルター確認ランプが点灯することがあります。

仕様

品名(型番)	ドラム式洗濯乾燥機 (ANGL-DAH100-A)
種類	ドラム式全自動電気洗濯機
電源	交流100 V、50 Hz/60 Hz
電動機の定格消費電力	400 W
電熱装置の定格消費電力	1050 W
乾燥時消費電力	1050 W
標準洗濯容量	10.0 kg (乾燥時の布質量)
標準脱水容量	10.0 kg (乾燥時の布質量)
標準乾燥容量	5.0 kg (乾燥時の布質量)
標準水量	27 L
標準使用水量	80 L
水道水圧	0.05 ~ 1MPa
運転音(約)	洗い時：33 dB、乾燥時：43 dB、脱水時：54 dB
洗濯方式	ドラム式
乾燥方式	水冷除湿形回転ドラム式
外形寸法	幅595×奥行605×高さ895 (mm)
質量	66 kg
電源コード(約)	2 m
防水レベル	IPX4
原産国	中国

• 外観、仕様などを予告なく変更する場合があります。

重要

この製品は日本国内用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。アフターサービスもできません。

This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country. No product service is available outside of Japan.

| 部品・消耗品

劣化・消耗したり、紛失してしまったときは、販売店でご注文いただけます。

部品名	部品コード	部品名	部品コード
排水フィルター	ANGL-DAH100-HF	排水ホース	ANGL-DAH100-HH
洗剤投入ケース	ANGL-DAH100-STC	給水ホース	ANGL-DAH100-KH

アフターサービス

修理を依頼されるときは

- 「故障かな?と思ったら」(P 46)をご確認ください。それでも異常があるときは使用を中止し、電源プラグを抜いてください。
- 製品と保証書・お買い上げレシートを準備し、下記のお問い合わせ先か販売店にお問い合わせください。

修理料金の仕組み

- 修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料 診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 お客様のご依頼により、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

保証書

保証書は記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

《保証期間中》

保証書の内容に従って修理いたします。

《保証期間が過ぎている場合》

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

※場合によっては修理できない場合もございます。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しております。

※補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

ご相談窓口・修理窓口のご案内

お取扱い・修理に関しては販売店へご相談ください。

※販売店にご依頼できない場合（転居や贈答品など）は下記の各お問い合わせ先にご相談・お問い合わせください

お客様の個人情報の取り扱いについて

ご提供いただいたお客様の個人情報は、ご意見・ご質問への回答および弊社のお客様サービス向上のために利用させていただきます。ご質問の内容によりましては、適切な回答のためエディオングループ、および関係会社に情報を提供する場合もございます。その他、ご提供頂いたお客様の個人情報はエディオングループ個人情報保護方針に基づいてお取り扱いいたします。

エディオングループ個人情報保護方針 <https://www.edion.co.jp/privacy>

お問い合わせ先

～製品に関するお問い合わせ～

エディオンお客さま相談センター



受付時間：月曜日～金曜日
9:30～18:30（土日祝・年末年始除く）

0570-07-0557

有料

※番号をお確かめの上、お掛け間違いのないようお願いいたします。※電話番号・受付時間等につきましては、変更になる場合がございます。

(2026.2月時点)

～修理に関するお問い合わせ～

家電の119番



受付時間：月曜日～日曜日
9:00～19:00（年中無休）

0570-06-0119

有料

※年末年始に関しては受付時間が変更となる場合がございます。※番号をお確かめの上、お掛け間違いのないようお願いいたします。



(2026.2月時点)

愛情点検

●長年ご使用のドラム式洗濯乾燥機の点検を！



こんな症状はありませんか

- ドラムが止まりにくい
- 電源を入れても動かないときがある
- こげくさい臭いや運転中の異常音・振動がある
- 電源コード、プラグが異常に熱い
- 本体に触れるとビリビリと電気を感じる
- その他の異常・故障がある

ご使用
中止

事故の防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。